

避難者意向調査結果のポイント

I 調査概要

- ◇ 調査目的：避難者の現在の生活状況や支援ニーズを把握し、今後の支援施策の充実につなげる。
- ◇ 調査対象：本県からの避難者 62,812世帯
- ◇ 調査方法：郵送によるアンケート方式（記名式）
- ◇ 調査期間：平成26年1月22日～2月6日
- ◇ 回答数：20,680世帯
- ◇ 回収率：35.3%
(住所不明による返戻分を除く有効発信数58,627世帯に対する回収率)

II 調査結果のポイント

1. 避難状況

- (1) 半数近くの世帯（48.9%）が2カ所以上に分散して生活している。
- (2) 4分の3以上の世帯（77.4%）が、避難先へ住民票を移していない。

2. 住まいの状況

- (1) 避難者の約7割（69.0%）が仮設・借上住宅等に居住している。
- (2) 住居に対する要望は、仮設・借上住宅等の入居期間の延長（40.4%）、住み替えの柔軟な対応（26.2%）となっている。

3. 健康や生活などの状況

- (1) 避難してから心身の不調を訴えている同居家族がいる世帯は67.5%となっている。
- (2) 現在の生活での不安や困っていることは、「住まいのこと」（63.4%）、「自分や家族の身体の健康のこと」（63.2%）、「自分や家族の心の健康のこと」（47.8%）、「生活資金のこと」（45.4%）、「放射線の影響のこと」（43.9%）の順となっている。

4. 情報提供

- (1) 避難元情報の入手手段は、「避難元自治体（県・市町村）からの郵送物・配送物」（83.1%）、「テレビ」（61.5%）、「地元新聞を買って」（43.5%）、「友人・知人」（35.3%）の順となっている。
- (2) 行政からの希望する情報は、「東京電力の賠償に関する情報」（67.7%）、「福島県・避難元市町村の復興状況」（56.7%）、「除染に関する情報（50.7%）」、「放射線に関する情報」（49.5%）の順となっている。

5. 今後の意向（※復興庁等が避難指示区域を対象に実施した市町村を除く。）

- (1) 福島県内に避難中の世帯の今後の生活予定は、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」（40.4%）、「現在の県内の避難先市町村に定住したい」（17.5%）となっている。
- (2) 県外に避難中の世帯は、「現時点で決まっていない」（36.0%）、「現在の県外の避難先市町村に定住したい」（26.4%）、「被災当時の県内市町村に戻りたい」（17.5%）の順となっている。
- (3) 被災当時と同じ市町村に戻る条件は、「放射線の影響や不安が少なくなる」（40.9%）、「原子力発電所事故の今後について不安が少なくなる」（31.7%）、「地域の除染が終了する」（27.3%）、「避難元の地域が元の姿に戻る」（22.8%）、「復興公営住宅への入居が決まる」（21.0%）の順となっている。
- (4) 帰還や生活再建に向けて必要な支援としては、「生活資金に関する支援」（38.5%）、「東京電力の損害賠償に関する情報提供」（37.4%）、「避難先での生活支援」（30.9%）、「放射線に対する正しい知識の提供」（30.5%）の順となっている。

現在の取り組み

避難先で安心して暮らす

- ・応急仮設住宅の供与
- ・避難者支援団体等への補助事業
- ・近隣県等への職員派遣による個別相談
- ・避難先自治体等と連携した相談、見守り、交流の場などの提供

ふるさととのきずなを保つ

- ・地元紙、広報誌の送付
- ・避難者向け情報紙の発行
- ・避難者に対する高速道路の無料措置

帰還につなげる

- ・避難者意向調査
- ・復興公営住宅の整備
- ・除染の推進
- ・地元紙・広報誌の送付【再掲】
- ・避難者向け情報紙の発行【再掲】等

避難元市町村、受入自治体、民間団体等との連携

避難者意向調査結果

①避難状況

- ・半数以上の世帯が2カ所以上に分散して避難。
- ・4分の3以上は避難先に住民票を移していない。

②住まいの状況

- ・避難者の約7割が仮設・借上住宅で生活
- ・要望は、仮設・借上の入居期間延長、住替えの柔軟な対応。

③健康や生活などの状況

- ・心身の不調を訴える同居家族がいる世帯は67.5%。
- ・現在の不安は、住まい、自分や家族の健康、生活資金、放射線の影響など

④情報提供

- ・情報の入手手段は、「避難元自治体(県・市町村)からの郵送物・配送物が最も多い。
- ・行政から希望する情報は、「賠償」(67.7%)のほか、県全体や避難元市町村の復興、除染の状況など。

⑤今後の意向

- ・県内避難世帯は、「被災当時の県内市町村に戻りたい」(40.4%)、「現在の避難先に定住」(17.5%)など。
- ・県外避難世帯は、「決まっていない」(36.0%)、「現在の県外避難先市区町村に定住」(26.4%)、「被災当時の県内市町村に戻りたい」(17.5%)。
- ・被災当時と同じ市町村に戻る条件は、「放射線の影響が減少」(40.9%)、「発電所の今後の不安がなくなる」など。
- ・必要な支援としては、「生活資金」(38.5%)、「損害賠償の情報」(37.4%)、「避難先での生活支援」(30.9%)の順。

今後の支援の方向性

①現在の避難生活に対する支援

- ・避難先における住宅の確保
- ・避難者の健康管理、孤立化対策
- ・ふるさととのきずなの維持 など

②生活再建・帰還に向けた支援

- ・避難者へのきめ細かな情報提供
- ・避難者への相談体制の充実・強化
- ・復興公営住宅の整備
- ・除染の加速化 など

現行施策の充実強化

国に対する働きかけ

全庁連携した取組
(新生ふくしま復興推進本部等)

福島県避難者意向調査 調査結果（概要版）

<調査の概要>

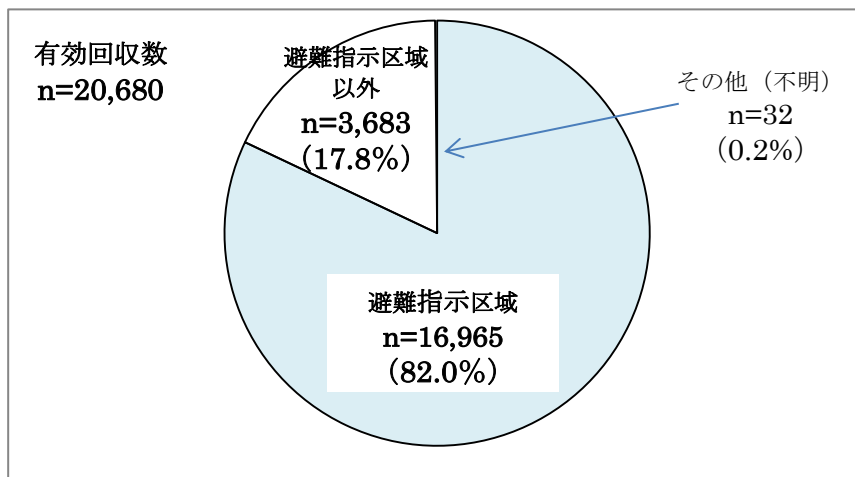
1. 調査目的：避難者の現在の生活状況や支援ニーズを把握し、今後の支援施策の充実につなげる。
2. 調査対象：本県からの避難者 62,812世帯
3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（記名式）
4. 調査期間：平成26年1月22日～2月6日
5. 回答数：20,680世帯
6. 回収率：35.3%
(住所不明による返戻分を除く有効発信数 58,627世帯に対する回収率)

<基本属性>

- 避難元別内訳（避難指示区域・避難指示区域以外）
- 避難先別（県内・県外）

<基本属性>

- 有効発信数 計 58,627 世帯（避難指示区域 44,532 世帯・75.9%、
避難指示区域以外 14,078 世帯・24.0%、
その他 17 世帯・0.1%）
- 有効回収数 計 20,680 世帯
- 避難元別内訳（避難指示区域、避難指示区域以外）



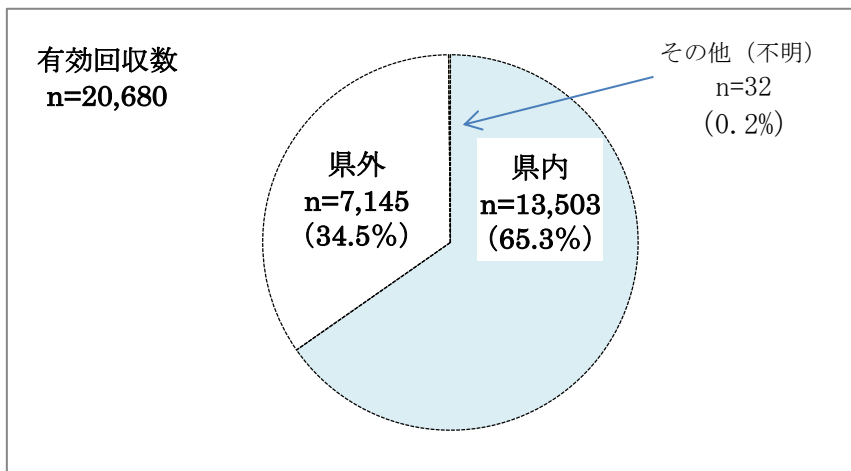
○避難指示区域（避難指示区域、旧緊急時避難準備区域）の市町村の有効回収数 16,965 世帯

浪江町 4,153、南相馬市 3,842、富岡町 2,381、大熊町 2,047、楡葉町 1,355、
双葉町 1,173、飯館村 938、広野町 374、葛尾村 249、川内村 224、川俣町 162、
田村市 67

○避難指示区域以外の市町村の有効回収数 3,683 世帯（※有効回収数 20 未満は、「その他」に分類）

いわき市 1,434、福島市 583、郡山市 578、相馬市 258、南相馬市 178、新地町 97、
伊達市 93、二本松市 82、須賀川市 74、白河市 53、本宮市 35、川俣町 29、田村市 27、
西郷村 21、矢吹町 20、その他 121

- 有効回収率 35.3%（避難指示区域 38.1%、避難指示区域以外 26.2%）
- 避難先別（県内・県外）



○県外避難先の内訳（7,145 件）（※有効回収数 100 未満は、「その他」に分類）

東京都 913、宮城県 807、埼玉県 738、茨城県 663、新潟県 596、神奈川県 537、千葉県 525、
山形県 483、栃木県 380、北海道 163、群馬県 159、静岡県 104、その他 34 府県 1,077

1. 避難状況

現在の避難状況（問2）

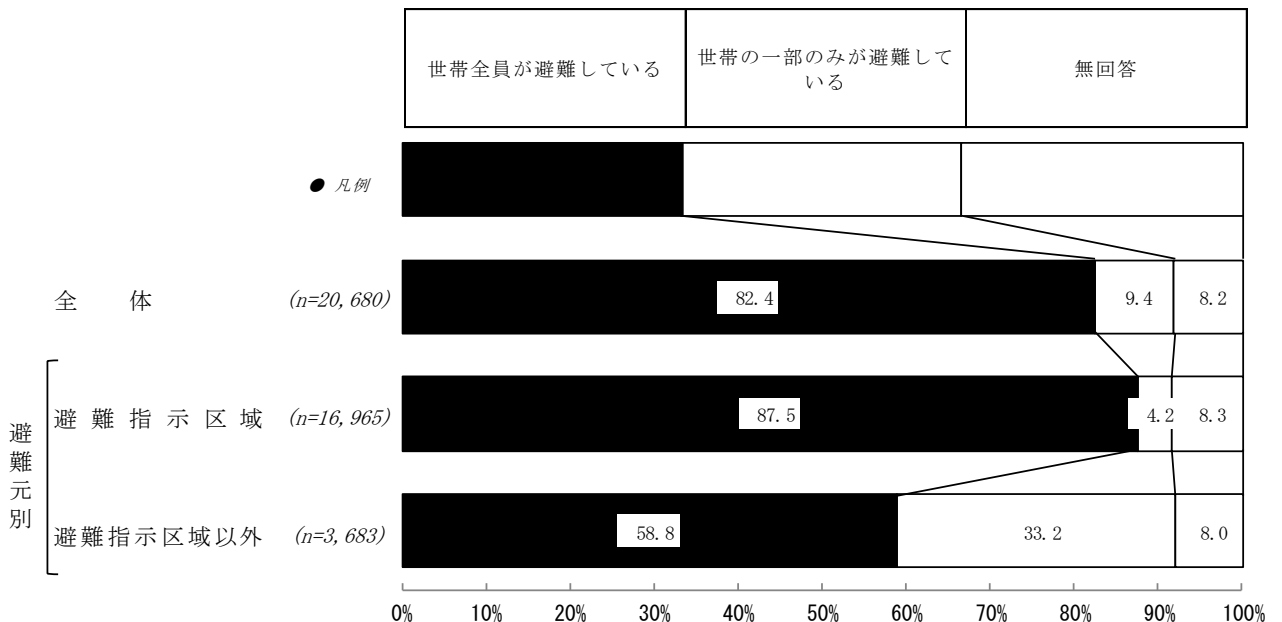
【全体】（図表 1-3-1）

- 避難世帯の8割以上（82.4%）は、世帯全員が避難しており、世帯の一部のみが避難しているのは、約1割（9.4%）となっている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 1-3-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、世帯全員が避難している世帯が9割近く（87.5%）の多数を占め、「世帯の一部のみが避難している」という分散避難は4.2%となっている。
- 避難指示区域以外からの避難世帯では、「世帯全員が避難している」のは約6割（58.8%）、「世帯の一部のみが避難している」のは33.2%である。

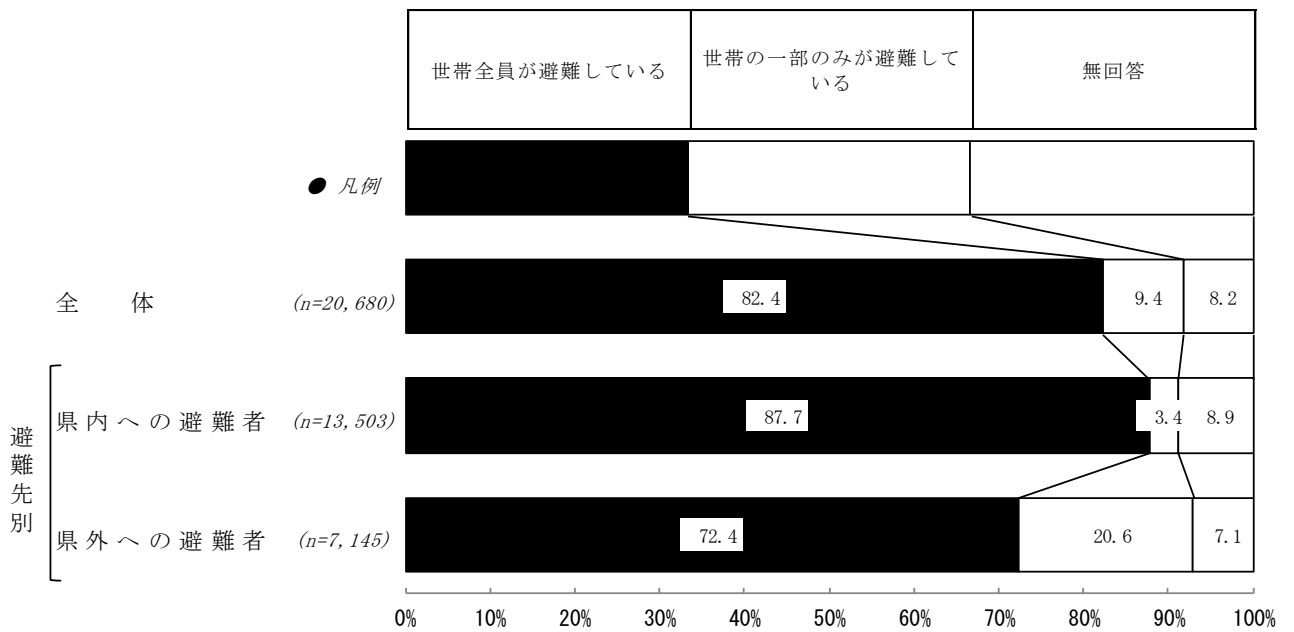
図表 1-3-1 現在の避難状況（避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外））



【避難先別（県内・県外）】（図表 1-3-2）

- 県内への避難世帯の 87.7%は世帯全員が避難しており、「世帯の一部のみが避難している」のは 3.4%にとどまっている。
- 県外への避難世帯では、「世帯全員が避難している」のは 72.4%、「世帯の一部のみが避難している」のは 20.6%であり、分散避難率は県内への避難世帯に比べて県外への避難世帯のほうが高い。

図表 1-3-2 現在の避難状況〈避難先別（県内・県外）〉



家族の分散居住状況（問2-1）

（○は1つだけ）

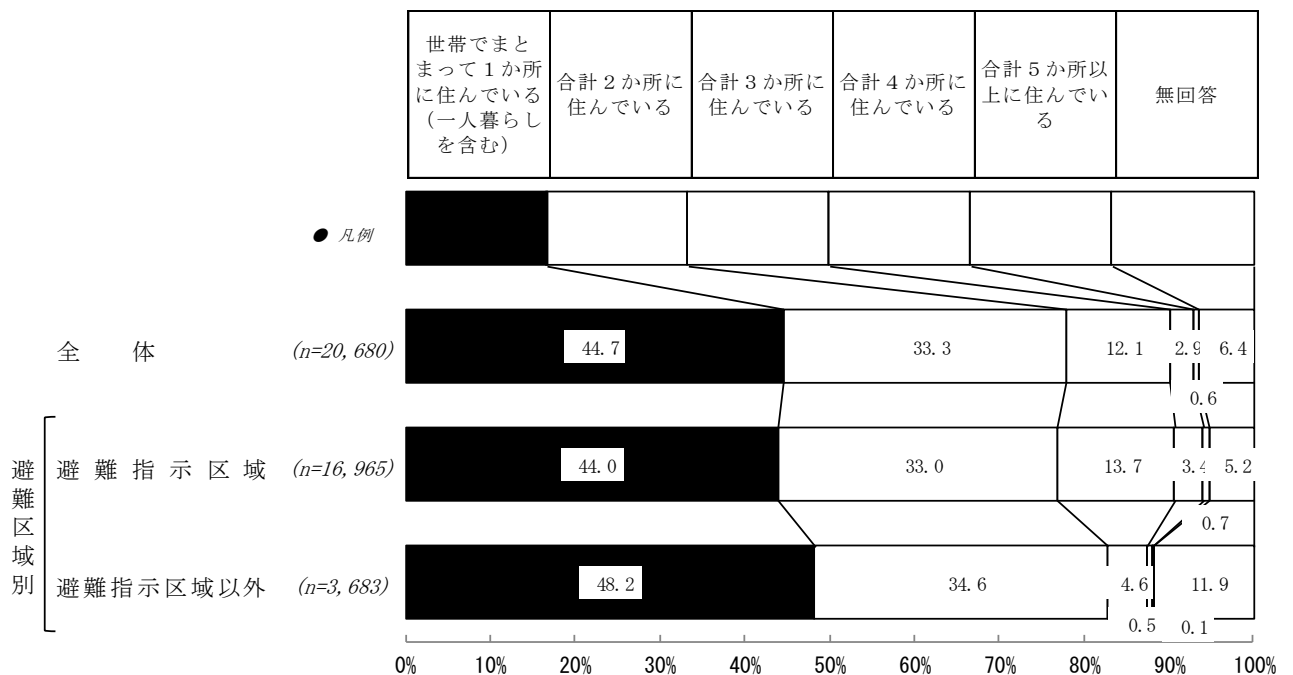
【全体】（図表1-4-1）

- 「世帯でまとまって1か所に住んでいる（一人暮らしを含む）」世帯は半数近くの44.7%であるのに対し、震災当時に同居していた家族が複数か所に住んでいる世帯は合計48.9%で、ほぼ二分している。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表1-4-1）

- 「世帯でまとまって1か所に住んでいる（一人暮らしを含む）」世帯は、避難指示区域からの避難世帯（44.0%）に比べて、避難指示区域以外からの避難世帯（48.2%）の方がやや多い。

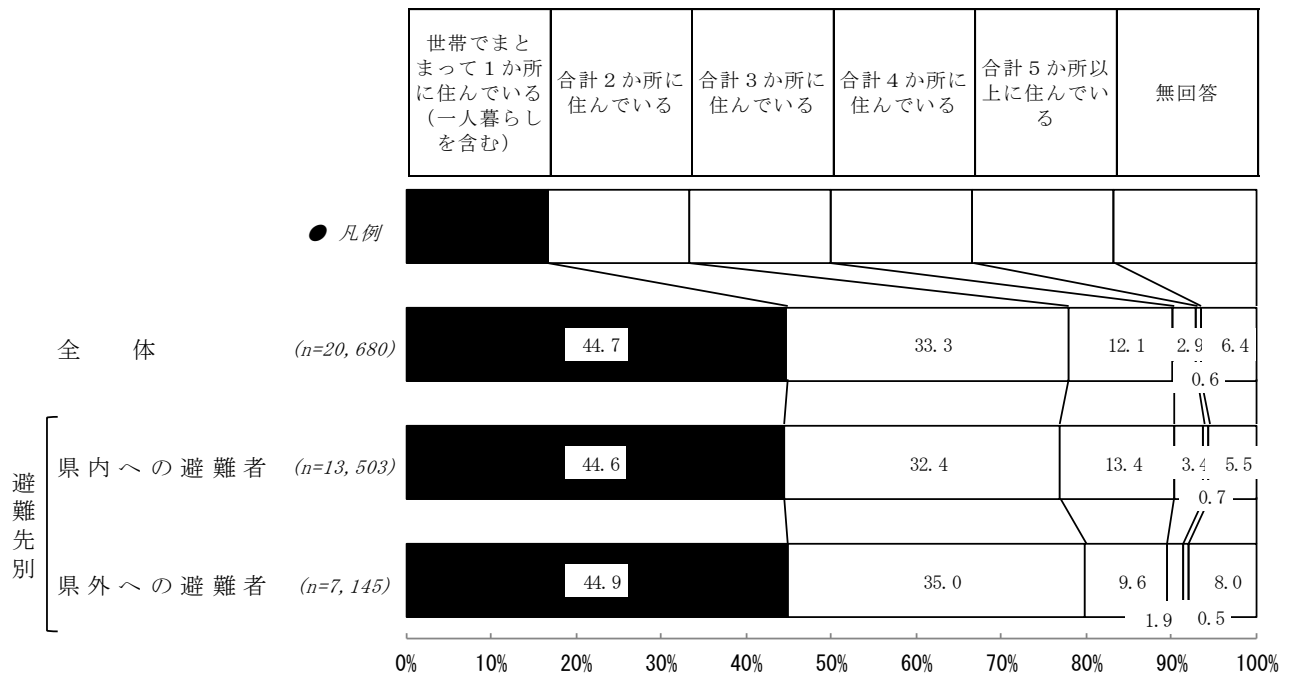
図表 1-4-1 被災当時同居していた家族の分散居住状況
 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 1-4-2）

- 複数か所に分かれて住んでいる世帯は、県内への避難世帯では合計 49.9%、県外への避難世帯では合計 47.0%であるのに対し、「世帯でまとまって1か所に住んでいる（一人暮らしを含む）」世帯は、県内への避難世帯では 44.6%、県外への避難世帯では 44.9%で、ほぼ二分している。

図表 1-4-2 被災当時同居していた家族の分散居住状況
〈 避難先別（県内・県外） 〉



避難先・避難元往来時の主な交通手段（問7）

（問6で1～5とお答えの方へ）

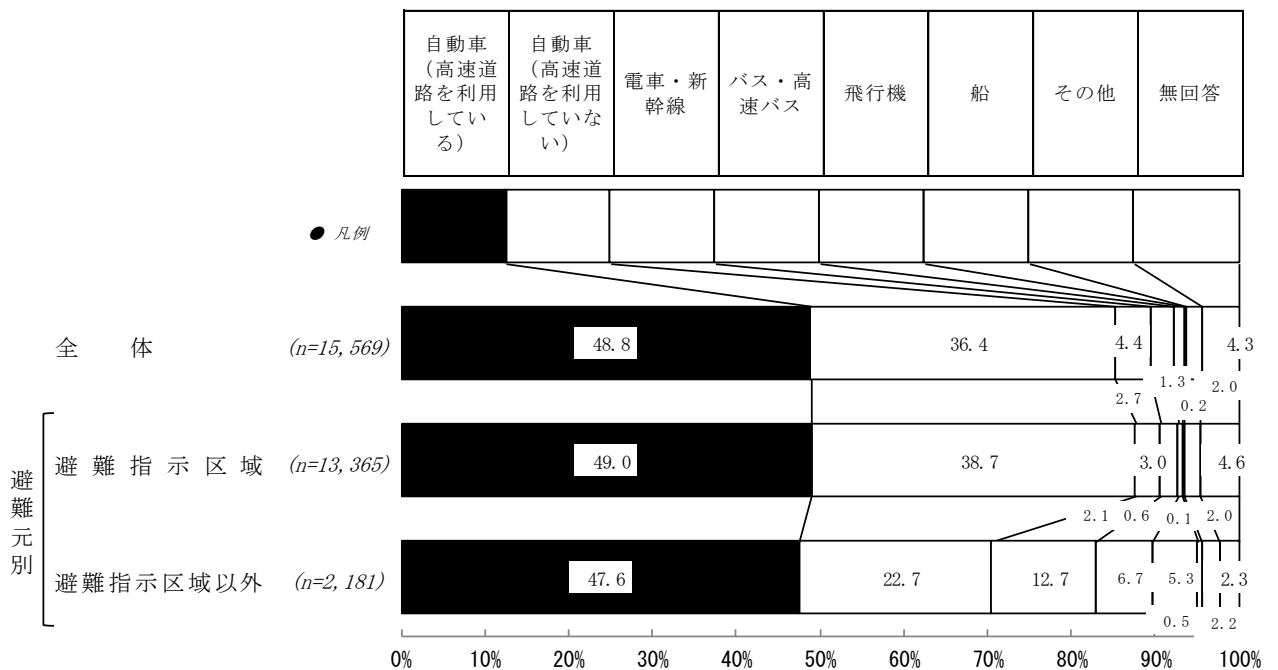
【全体】（図表 1-9-1）

- 避難先と避難元を1年に1回程度以上往来している人（15,569人）が主に利用している交通手段としては、「自動車（高速道路を利用している）」が全体の5割近く（48.8%）と最も多く、「自動車（高速道路を利用していない）」を含め、主に「自動車」を利用する避難世帯が約85%と多数を占めている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 1-9-1）

- 避難指示区域以外からの避難世帯では、「自動車」のほかに、「電車・新幹線」が12.7%、「バス・高速バス」が6.7%、「飛行機」が5.3%であった。

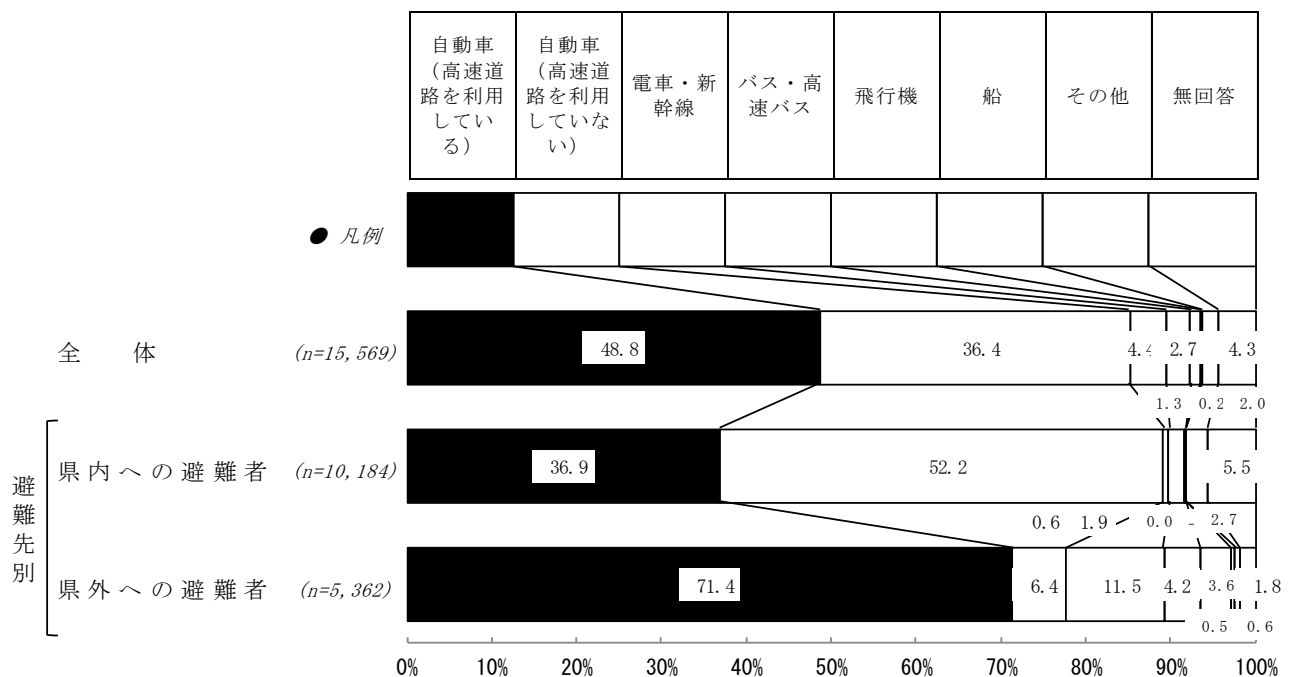
図表 1-9-1 避難先・避難元往来時の主利用交通手段
 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 1-9-2）

- 「自動車（高速道路を利用している）」の利用は、県外への避難世帯では71.4%と多数を占め、「電車・新幹線」が11.5%でそれに続く。県内への避難世帯では、「自動車（高速道路を利用していない）」が52.2%で最も多く、「自動車（高速道路を利用している）」は36.9%となっている。

図表 1-9-2 避難先・避難元往来時の主利用交通手段〈避難先別（県内・県外）〉



避難先への住民票変更状況（問8）

（すべての方へ）

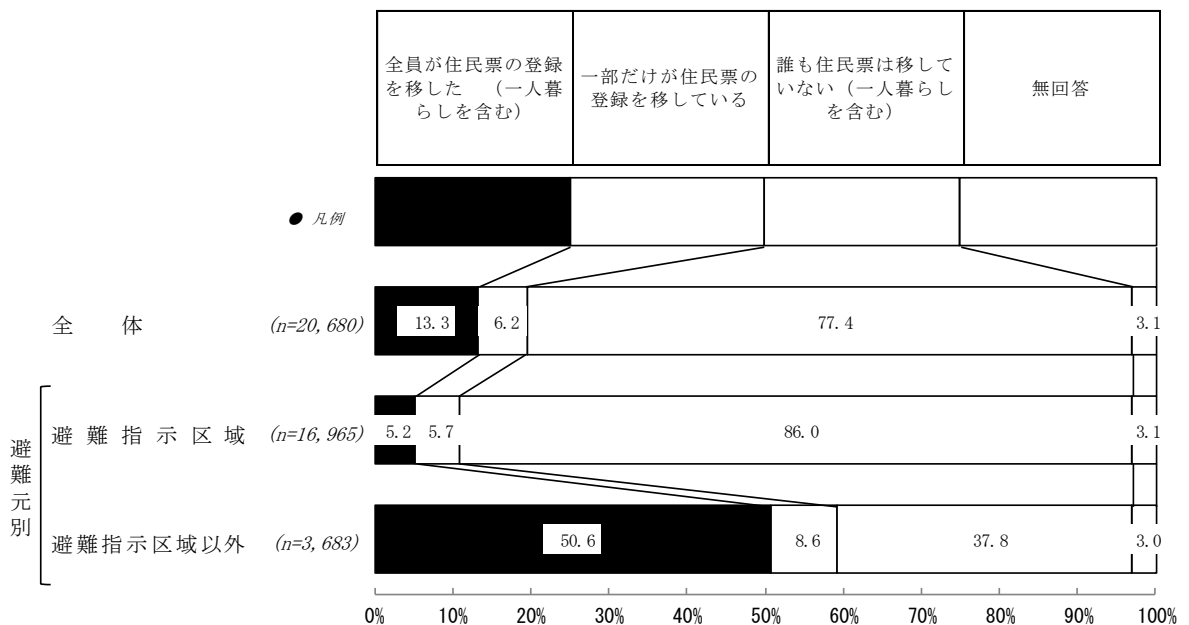
【全体】（図表 1-10-1）

- 避難世帯の4分の3以上（77.4%）が、避難先へ「誰も住民票は移していない（一人暮らしを含む）」状態で、同居家族の全員または一部だけでも住民票の登録を避難先に移しているのは、全体の約2割（19.5%）である。

【避難元（避難指示区域・避難指示区域外）】（図表 1-10-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、86.0%が「誰も住民票は移していない（一人暮らしを含む）」状態であり、避難指示区域以外からの避難世帯では、半数（50.6%）が「全員が住民票の登録を移した（一人暮らしを含む）」状態である。

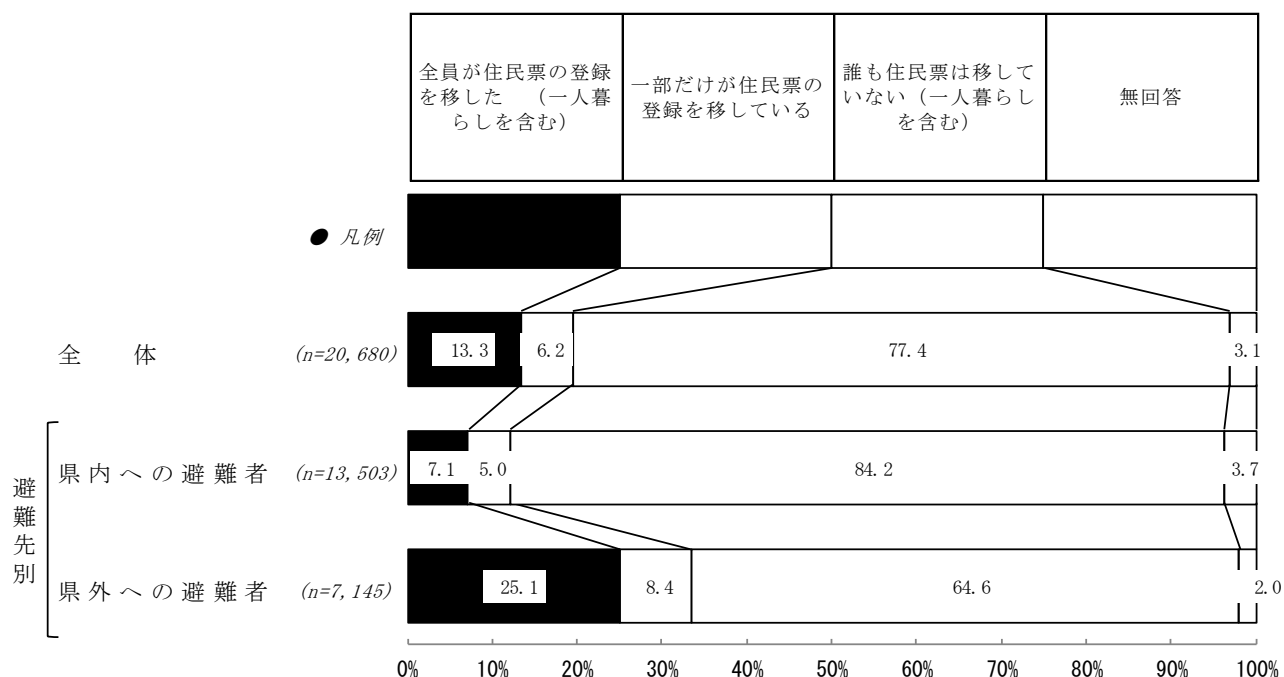
図表 1-10-1 避難先への住民票変更状況（避難状況別）



【避難先別（県内・県外）】（図表 1-10-2）

- 県内への避難世帯、県外への避難世帯とも、避難先へ住民票を移していない世帯が最も多く、「誰も住民票は移していない（一人暮らしを含む）」のは、県内への避難世帯では 84.2%、県外への避難世帯では 64.6%となっている。
- 県外への避難世帯の 4分の1（25.1%）が、全員避難先へ住民票を移している。

図表 1-10-2 避難先への住民票変更状況 〈 避難先別（県内・県外） 〉



2. 住まいの状況

現在居住している住居の形態（問9）

（すべての方へ）

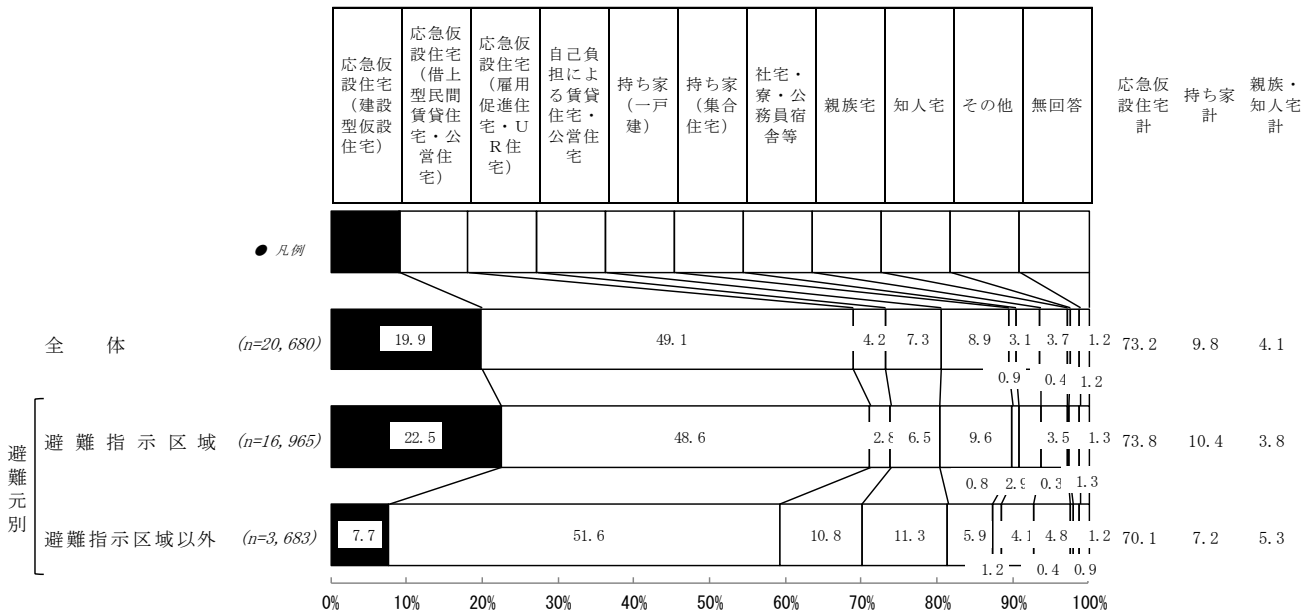
【全体】（図表 2-1-1）

- 避難世帯の現在の住居は、「応急仮設住宅（借上型民間賃貸住宅・公営住宅）」が最も多く、約半数（49.1%）を占めている。次いで多いのは「応急仮設住宅（建設型仮設住宅）」（19.9%）となっている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 2-1-1）

- 「応急仮設住宅（借上型民間賃貸住宅・公営住宅）」に次いで多いのは、避難指示区域では「応急仮設住宅（建設型仮設住宅）」（22.5%）であるが、避難指示区域以外では「自己負担による賃貸住宅・公営住宅」（11.3%）で、「応急仮設住宅（雇用促進住宅・UR住宅）」（10.8%）も同程度で続いている。

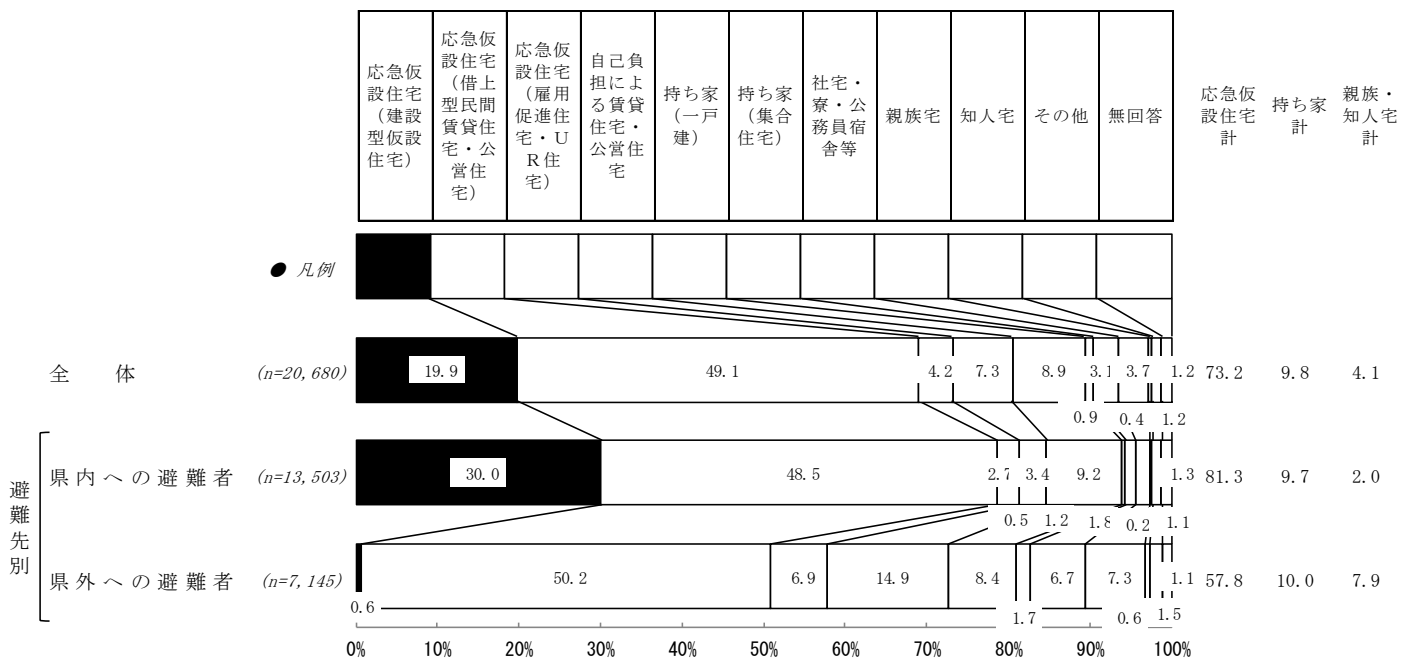
図表 2-1-1 現在居住住居の形態 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 2-1-2）

- 県内への避難世帯では、「応急仮設住宅（建設型仮設住宅）」の居住は3割で、「応急仮設住宅（借上型民間賃貸住宅・公営住宅）」に次いで多い。
- 県外への避難世帯では、「応急仮設住宅（借上型民間賃貸住宅・公営住宅）」の居住が5割（50.2%）で、次いで「自己負担による賃貸住宅・公営住宅」（14.9%）、「持ち家（一戸建）」（8.4%）の順となっている。

図表 2-1-2 現在居住住居の形態 〈 避難先別 （県内・県外） 〉



現在の住居についての要望（問9-1）

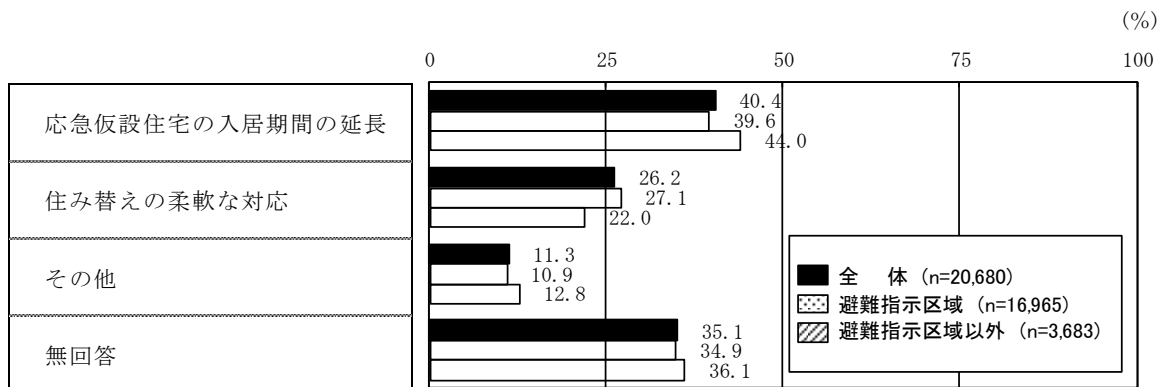
【全体】（図表 2-2-1）

- 現在住んでいる住居に対する要望を複数回答で尋ねたところ、最も多いのが「応急仮設住宅の入居期間の延長」（40.4%）であり、「住み替えの柔軟な対応」は26.2%となっている。
- その他（11.3%）の要望としては、部屋の狭さの改善や家族全員で住める家についての要望、家賃の減免や家賃補助の延長、住宅購入・建設の支援、ペットと住める住まいの要望などが挙げられている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 2-2-1）

- 「応急仮設住宅の入居期間の延長」への要望は、避難指示区域からの避難世帯（39.6%）に比べて避難指示区域以外からの避難世帯（44.0%）のほうがやや多く、「住み替えの柔軟な対応」についての要望は、避難指示区域以外からの避難世帯（22.0%）に比べて避難指示区域からの避難世帯（27.1%）のほうがやや多い。

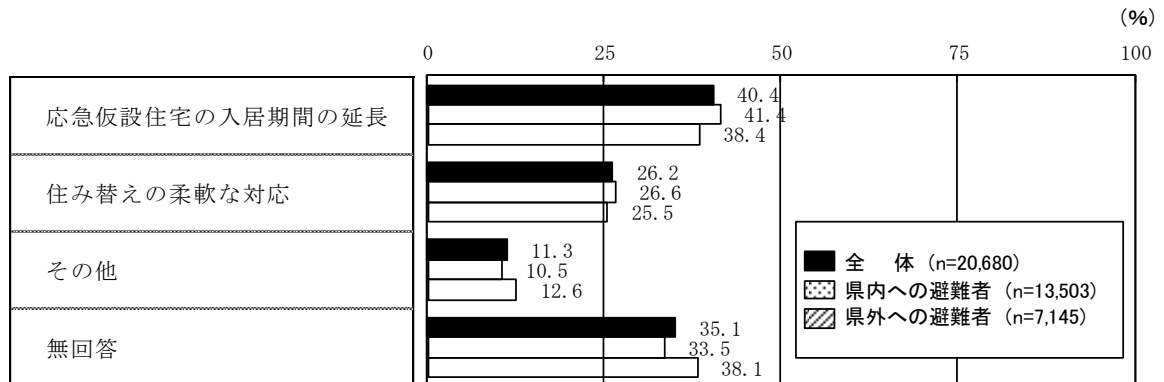
図表 2-2-1 現在の住居についての要望（避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外））



【避難先別（県内・県外）】（図表 2-2-2）

- 県内への避難世帯、県外への避難世帯ともに、「応急仮設住宅の入居期間の延長」に対する要望が最も多く、次いで「住み替えの柔軟な対応」となっている。

図表 2-2-2 現在の住居についての要望 〈 避難先別 （県内・県外） 〉



被災当時居住していた住居の現在の損傷や劣化状況（問 11）

（被災当時にお住まいだった住居が「持ち家」の方へ）

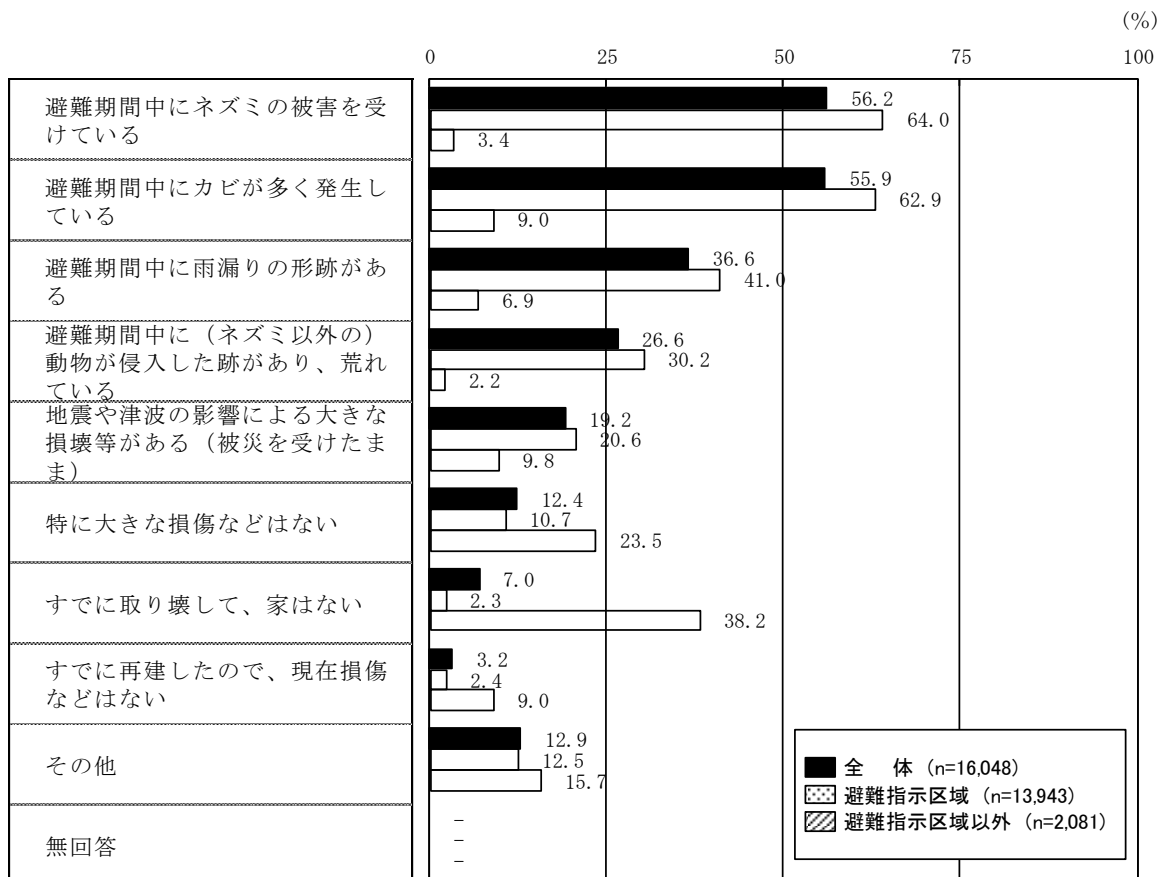
【全体】（図表 2-4-1）

- 被災当時の住居が持ち家であった人（16,048 人）に、被災当時居住住居の現在の損傷や劣化の程度を複数回答で尋ねたところ、ネズミ、カビ、雨漏り、動物侵入による持ち家の被害などが挙げられた。特に、ネズミやカビの被害は半数を超えている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 2-4-1）

- 避難指示区域以外からの避難世帯では、「特に大きな損傷などはない」は 23.5%であるほか、「すでに取り壊して、家はない」は 38.2%、「すでに再建したので、現在損傷などはない」は 9.0%で、ほぼ半数（合計 47.2%）の世帯ではすでに持ち家の被害への対応が行われている。

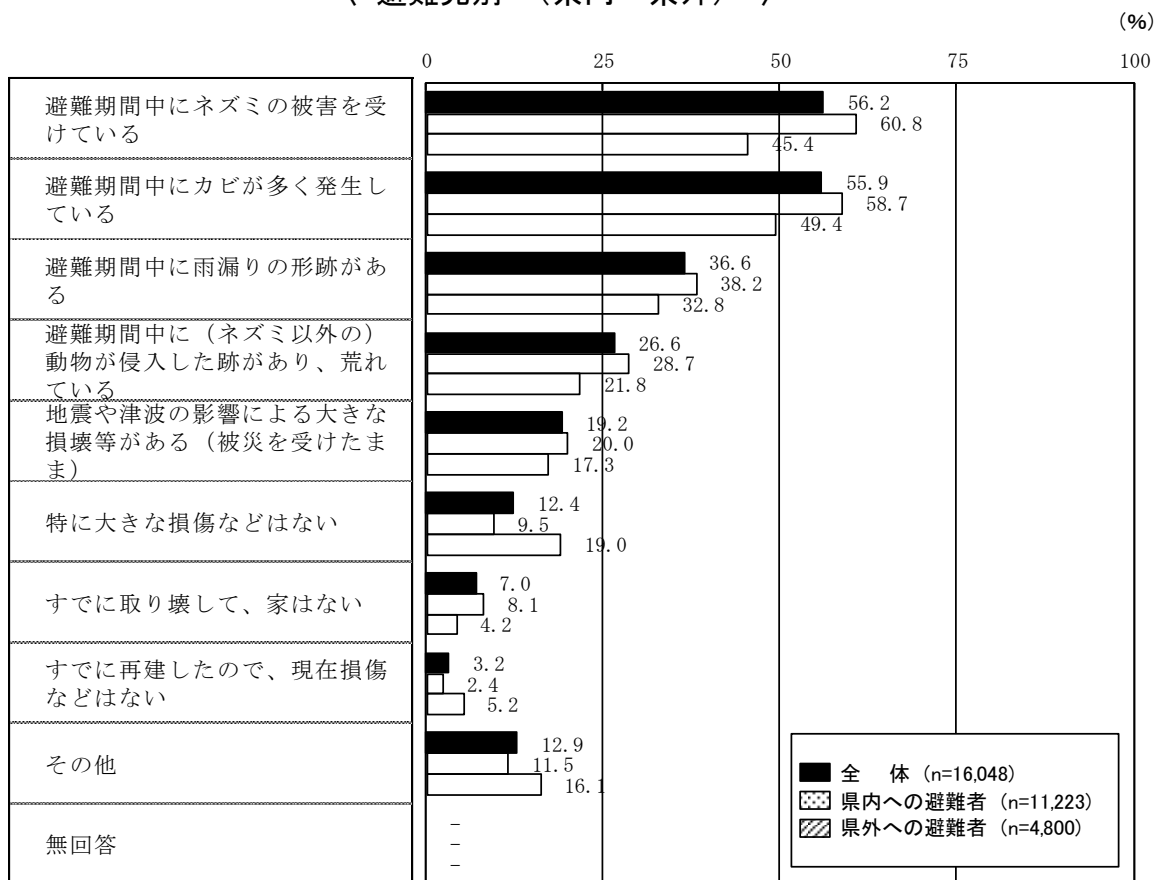
図表 2-4-1 被災当時居住住居(持ち家)の現在の損傷や劣化の程度
 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 2-4-2）

- 県内、県外への避難世帯ともに、ネズミ、カビ、雨漏り、動物侵入、地震や津波による住居の被害を受けた世帯は多く、ネズミ、カビの被害が特に多い。
- 持ち家をすでに取り壊した、または再建した世帯は、県内への避難世帯では 10.5%、県外への避難世帯では 9.4%となっている。

図表 2-4-2 被災当時居住住居(持ち家)の現在の損傷や劣化の程度
 〈 避難先別（県内・県外） 〉



3. 健康や生活などの状況

同居家族の健康状況（問 15-1）

（すべての方へ）

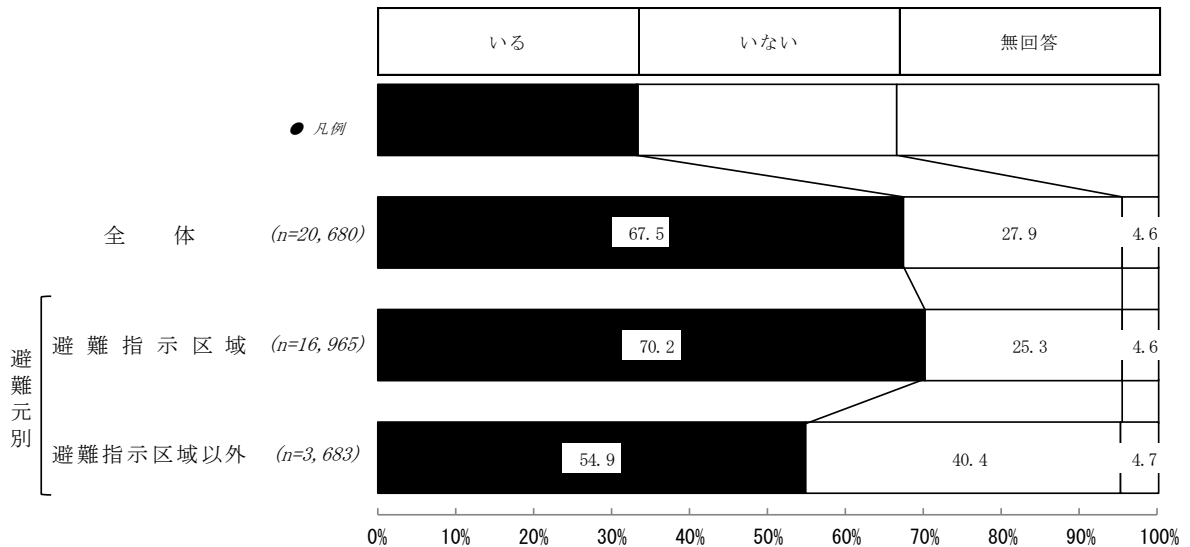
【全体】（図表 3-1-1）

- 避難してから心身の不調を訴えるようになった同居家族が「いる」世帯は 67.5%、「いない」世帯は 27.9%となっている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 3-1-1）

- 避難指示区域からの避難世帯は、避難指示区域以外からの避難世帯と比べて、避難後に心身の不調を訴えるようになった同居家族がいる割合が高い。
（避難指示区域 70.2%、避難指示区域以外 54.9%）

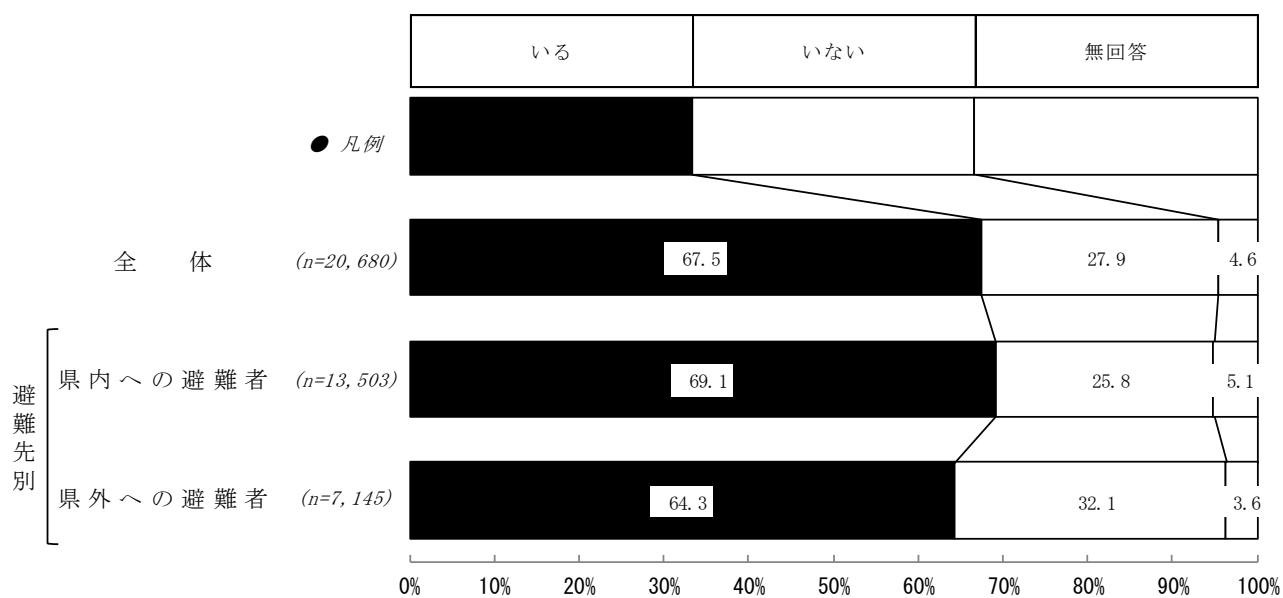
図表 3-1-1 同居家族の健康状況 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 3-1-2）

- 県内、県外への避難者ともに、避難してから心身の不調を訴えるようになった同居家族がいる世帯は半数を超えている。（県内 69.1%、県外 64.3%）

図表 3-1-2 同居家族の健康状況 〈 避難先別 （県内・県外） 〉



心身の不調の内容（問 15-2）

（問 15-1 で「いる」とお答えの方のみ）

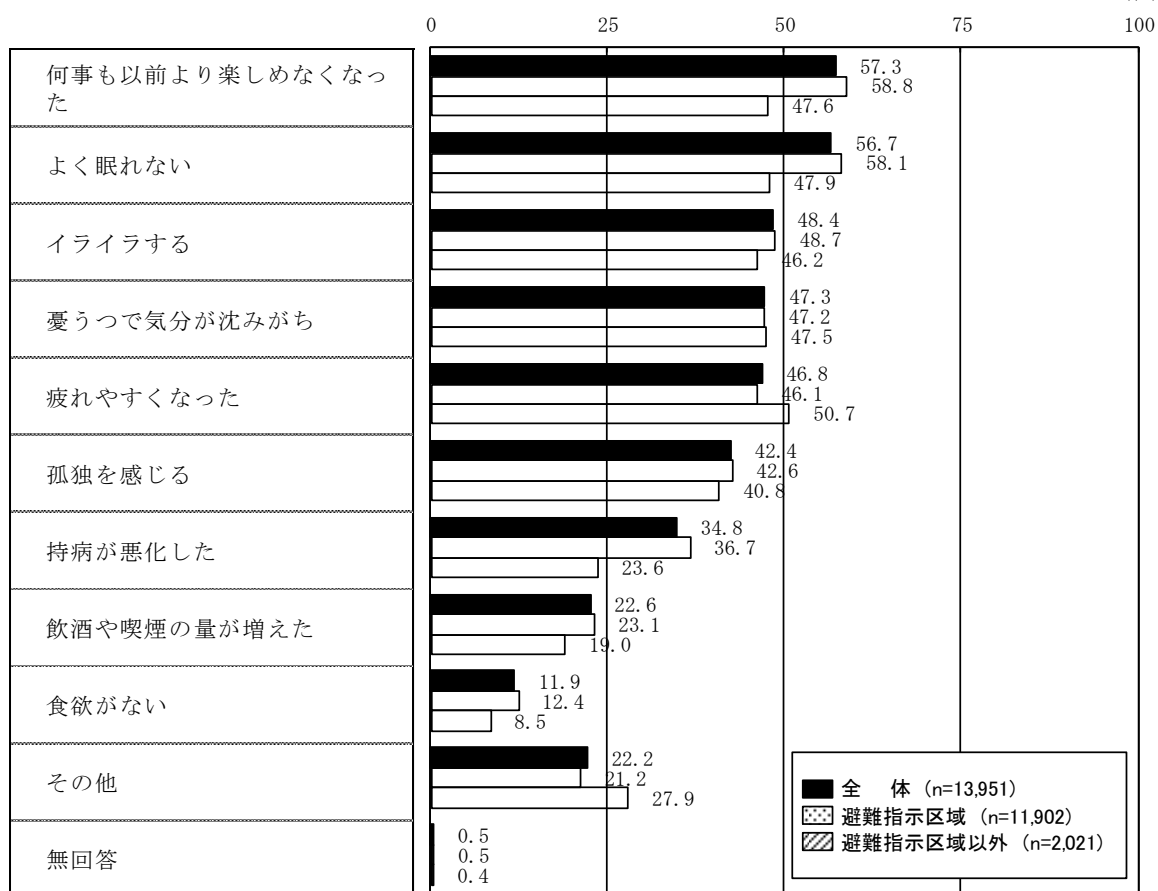
【全 体】（図表 3-1-3）

- 「何事も以前より楽しめなくなった」が 57.3%、「よく眠れない」が 56.7% でともに半数を超えて多く、「イライラする」、「憂うつで気分が沈みがち」、「疲れやすくなった」、「孤独を感じる」が 4 割台でそれに続いている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 3-1-3）

- 避難指示区域からの避難世帯では、避難指示区域以外からの避難世帯に比べて、「持病が悪化した」のほか、「何事も以前より楽しめなくなった」、「よく眠れない」の各症状が 10 ポイント以上多い。

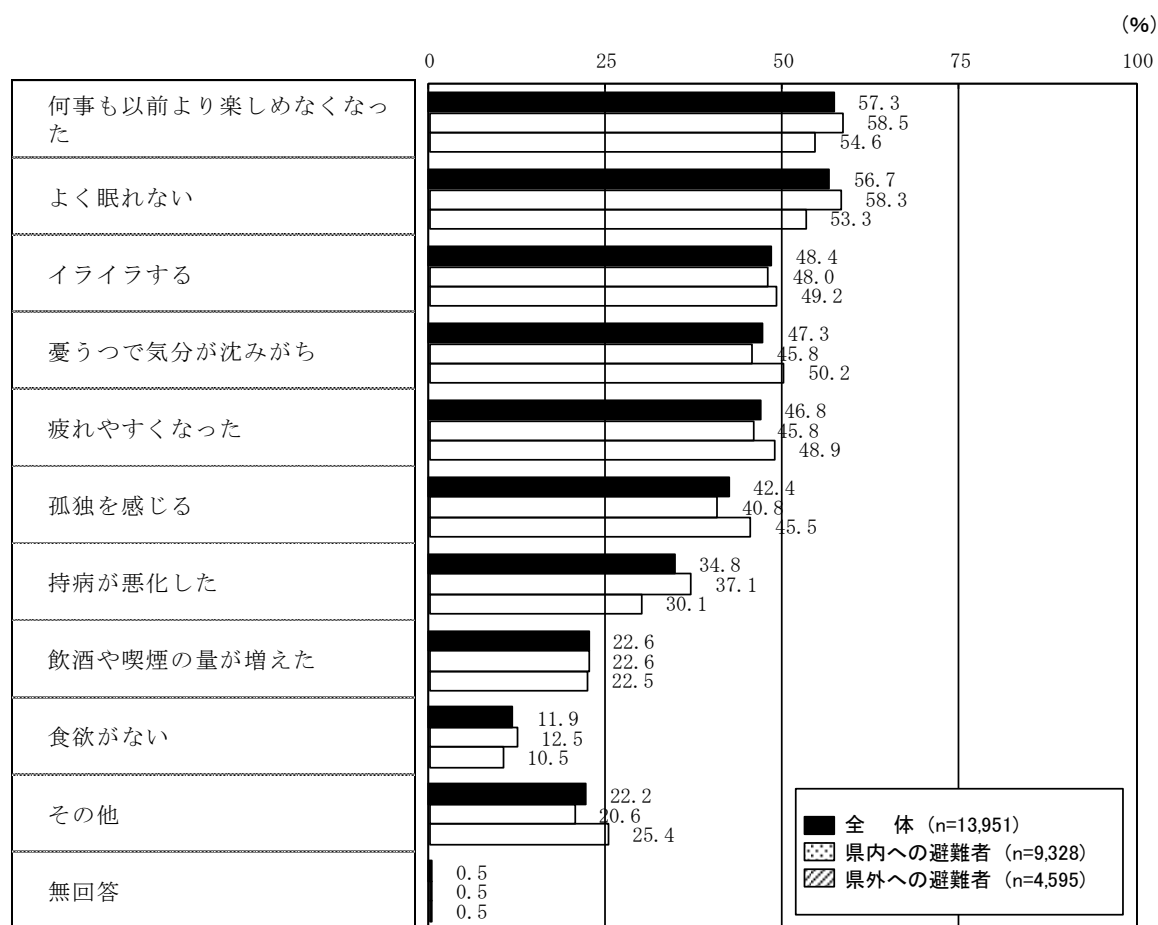
図表 3-1-3 不調の内容 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 3-1-4）

- 「よく眠れない」や「持病が悪化した」という症状は、県外への避難世帯に比べて県内への避難世帯にやや多く、「孤独を感じる」という状態は県内への避難世帯に比べて県外への避難世帯にやや多い。

図表 3-1-4 不調の内容 〈 避難先別 （県内・県外） 〉



現在の生活で不安なこと・困っていること（問 17）

（すべての方へ）

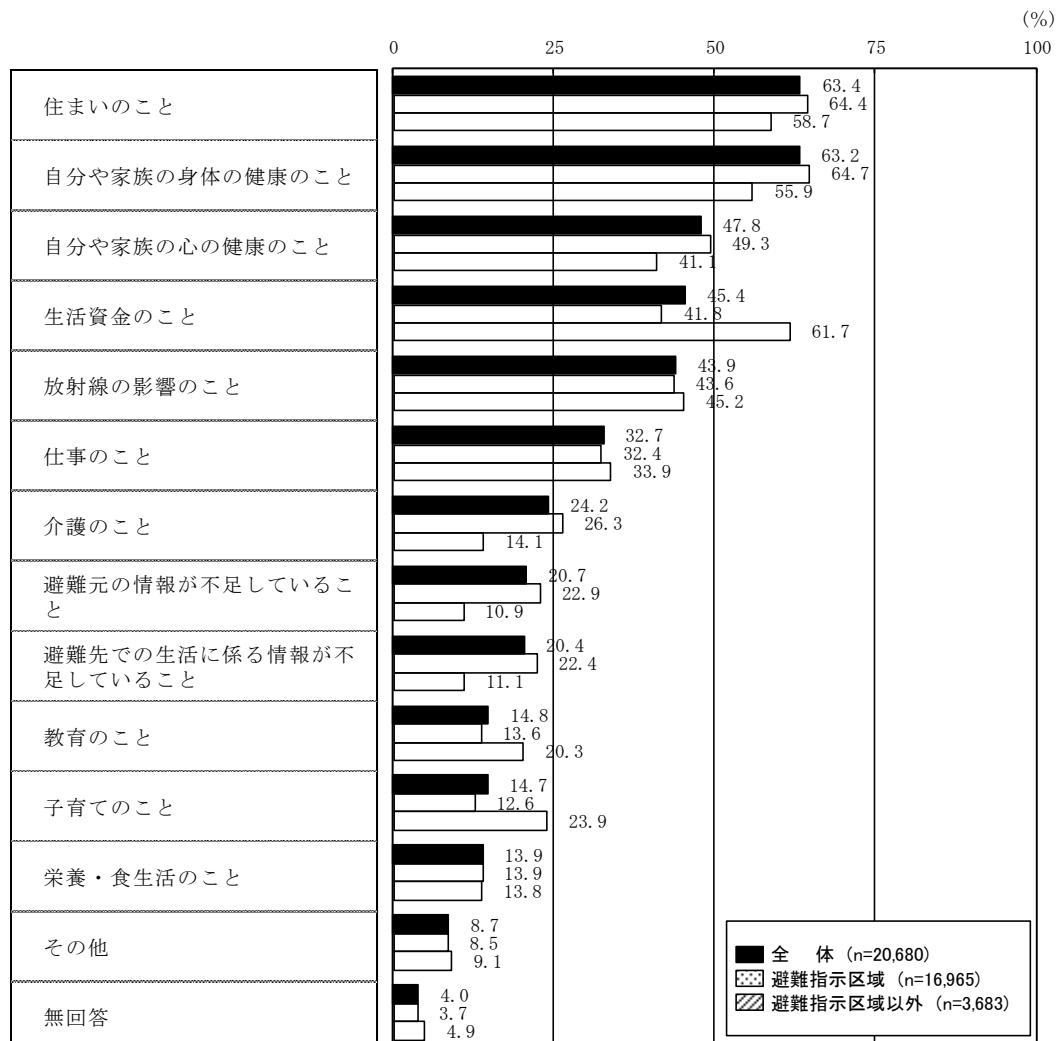
【全 体】（図表 3-3-1）

- 「住まいのこと」（63.4%）、「自分や家族の健康のこと」（身体 63.2%）に対する不安が多く挙げられた。次いで、「自分や家族の健康のこと」（心 47.8%）、「生活資金のこと」（45.4%）、「放射線の影響のこと」（43.9%）がいずれも 4 割を超えた。

【避難元別（避難指示区域、避難指示区域以外）】（図表 3-3-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では「自分や家族の身体の健康のこと」（64.7%）、避難指示区域以外からの避難世帯では「生活資金のこと」（61.7%）への不安等が最も多かった。

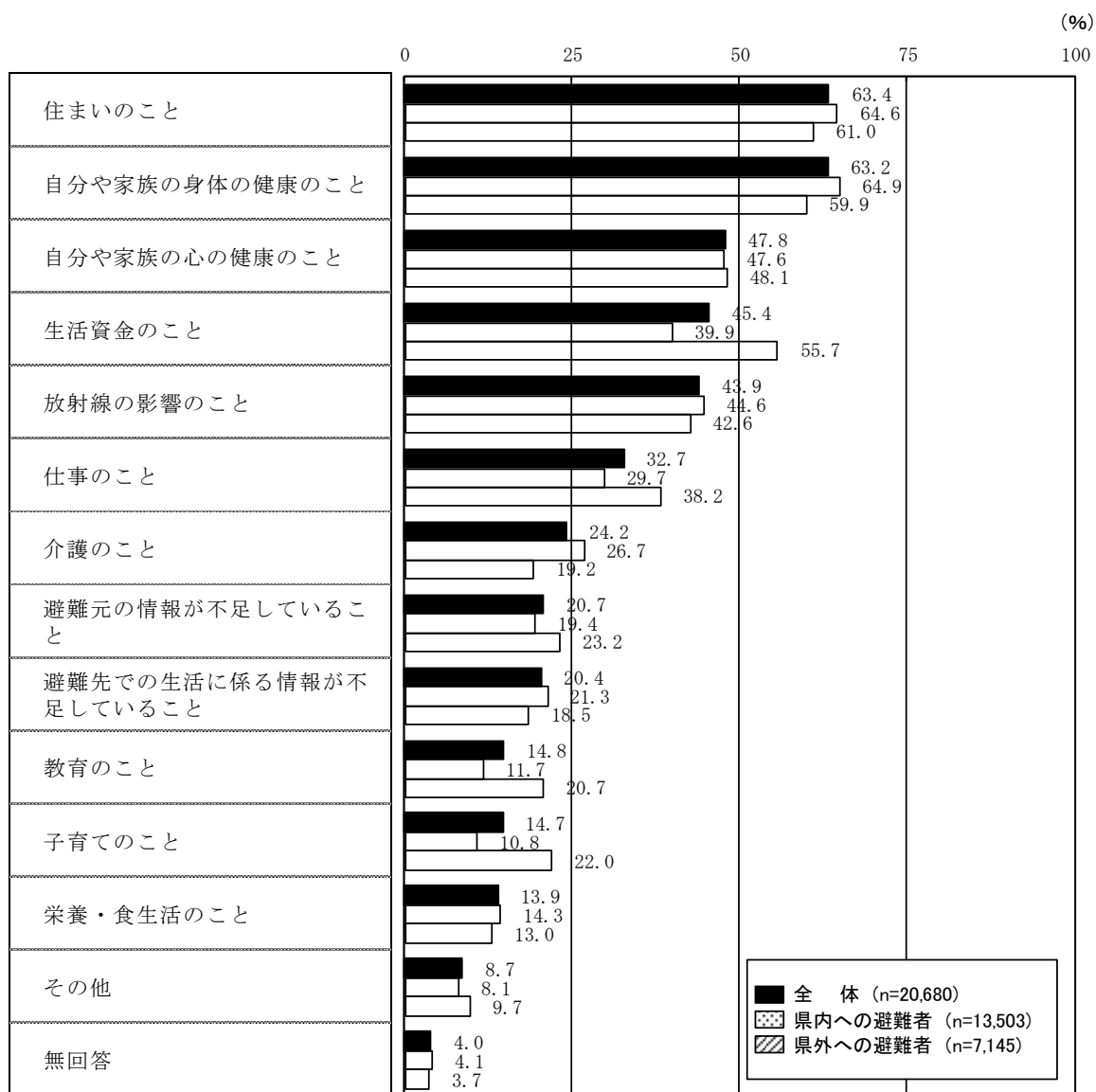
図表 3-3-1 現在の生活で不安なこと・困っていること
 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 3-3-2）

- 県外への避難世帯では、県内への避難世帯に比べて、生活資金、仕事、避難元の情報、教育、子育てについて、不安や困っている世帯の割合が高い。

図表 3-3-2 現在の生活で不安なこと・困っていること
 〈 避難先別（県内・県外） 〉



4. 情報提供について

避難元情報の入手手段（問 18）

（すべての方へ）

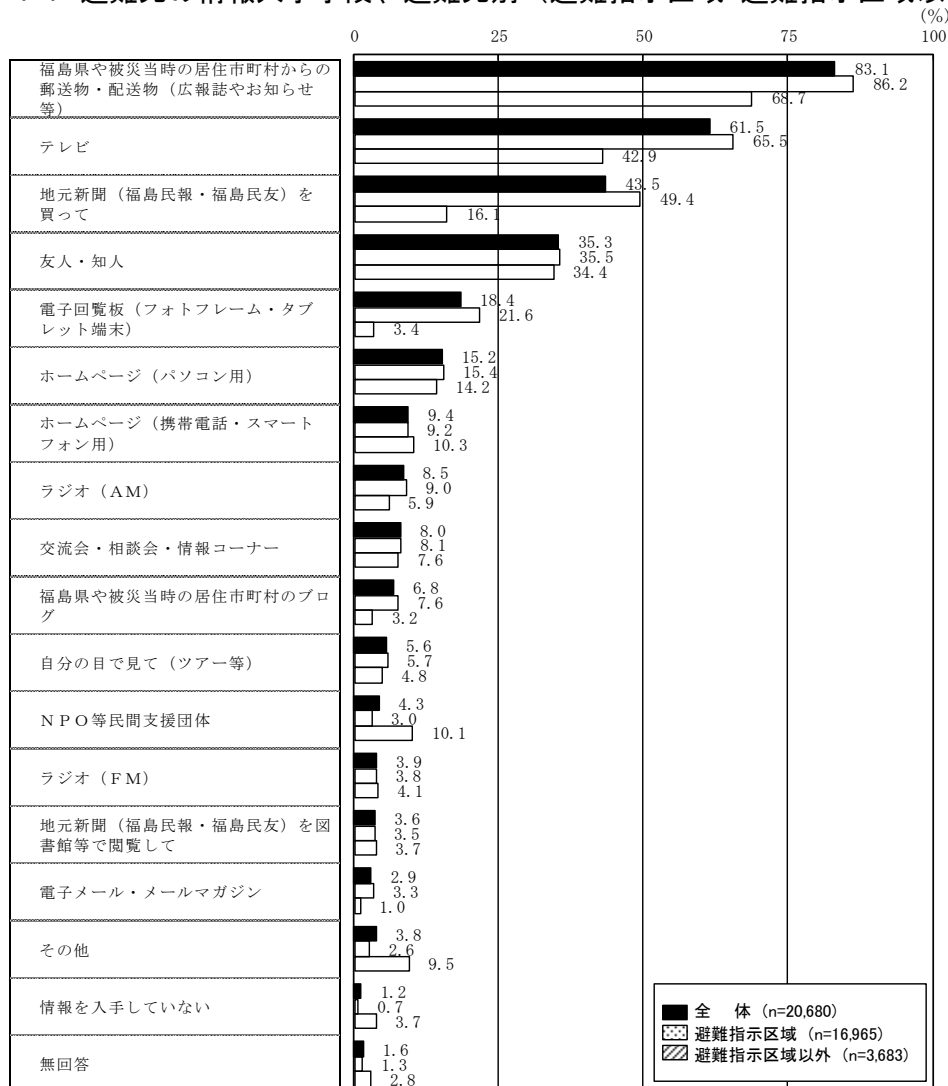
【全体】（図表 4-1-1）

- 複数回答で尋ねたところ、被災時に居住していた地方自治体（県、県内市町村）からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）が最も多く（83.1%）、テレビ（61.5%）、福島県内の地元新聞（43.5%）、友人・知人（35.3%）の順となっている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 4-1-1）

- 避難指示区域、避難指示区域以外からの避難世帯ともに、被災時に居住していた地方自治体からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）、テレビがいずれも6割を超え、入手手段のトップ2を占める。

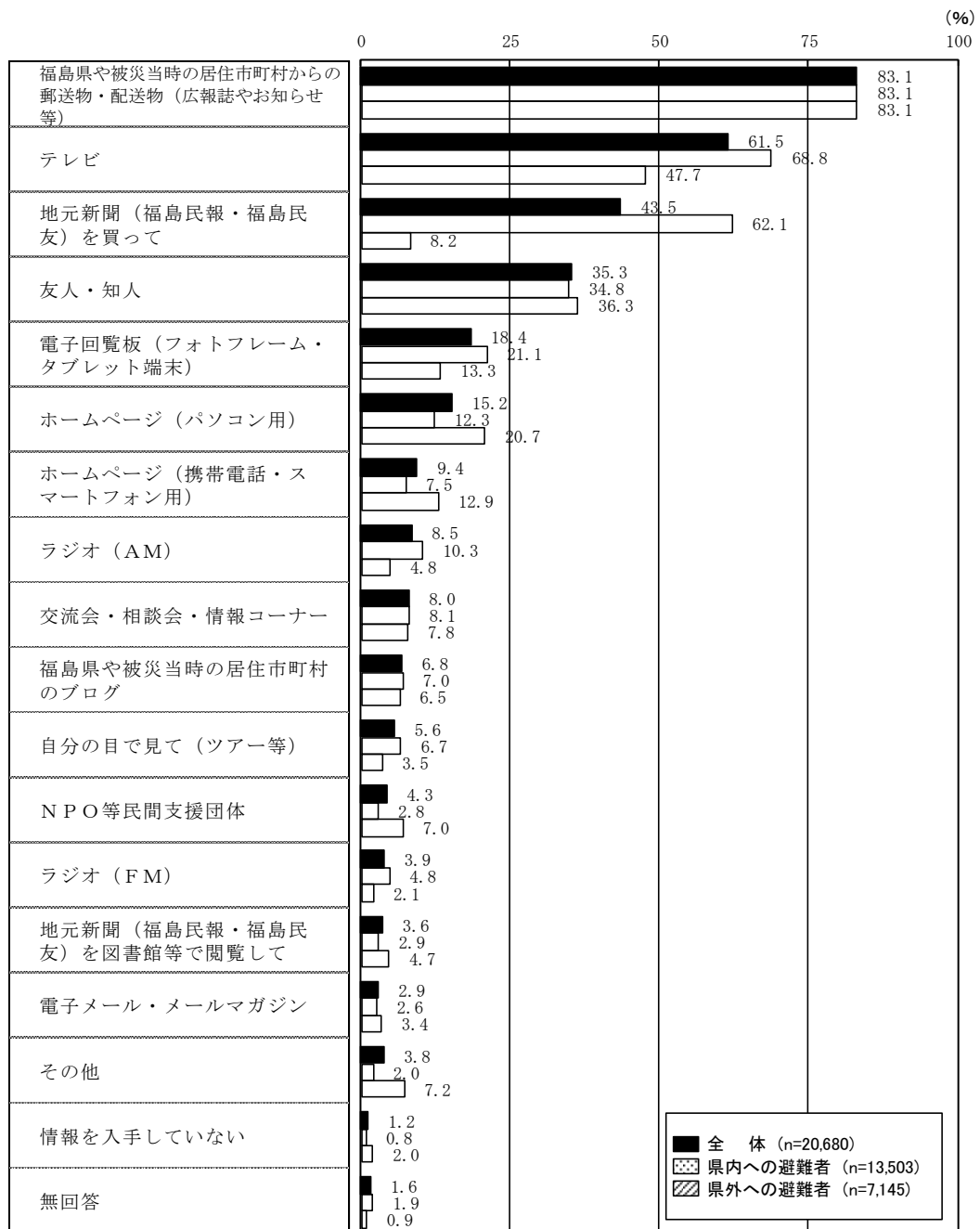
図表 4-1-1 避難元の情報入手手段〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 4-1-2）

- 県内、県外への避難世帯ともに、被災当時に居住していた地方自治体からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）による情報の入手が8割を超えて最も多く、県内外の差が見られない。

図表 4-1-2 避難元の情報入手手段 〈 避難先別 （県内・県外） 〉



避難元情報の入手希望手段（問 19）

（○はいくつでも）

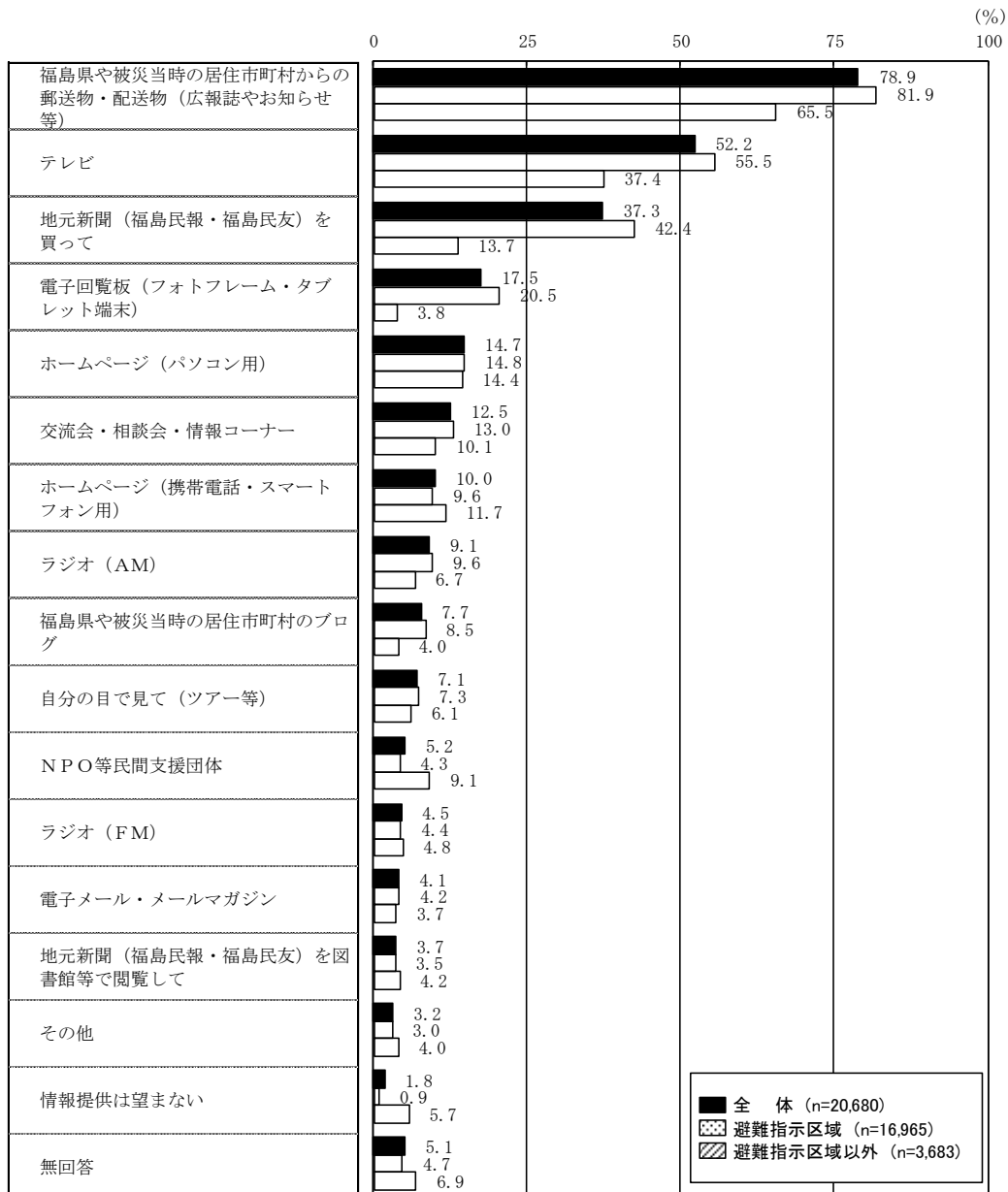
【全体】（図表 4-2-1）

- 「被災当時に居住していた地方自治体（県、県内市町村）からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」（78.9%）が最も多く、「テレビ」（52.2%）、「福島県内の地元新聞」（37.3%）の順となっている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 4-2-1）

- 避難指示区域、避難指示区域以外からの避難世帯ともに、「被災当時に居住していた地方自治体からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」が最も多く（避難指示区域 81.9%、避難指示区域以外 65.5%）、次いで「テレビ」（避難指示区域 55.5%、避難指示区域以外 37.4%）の順となっている。

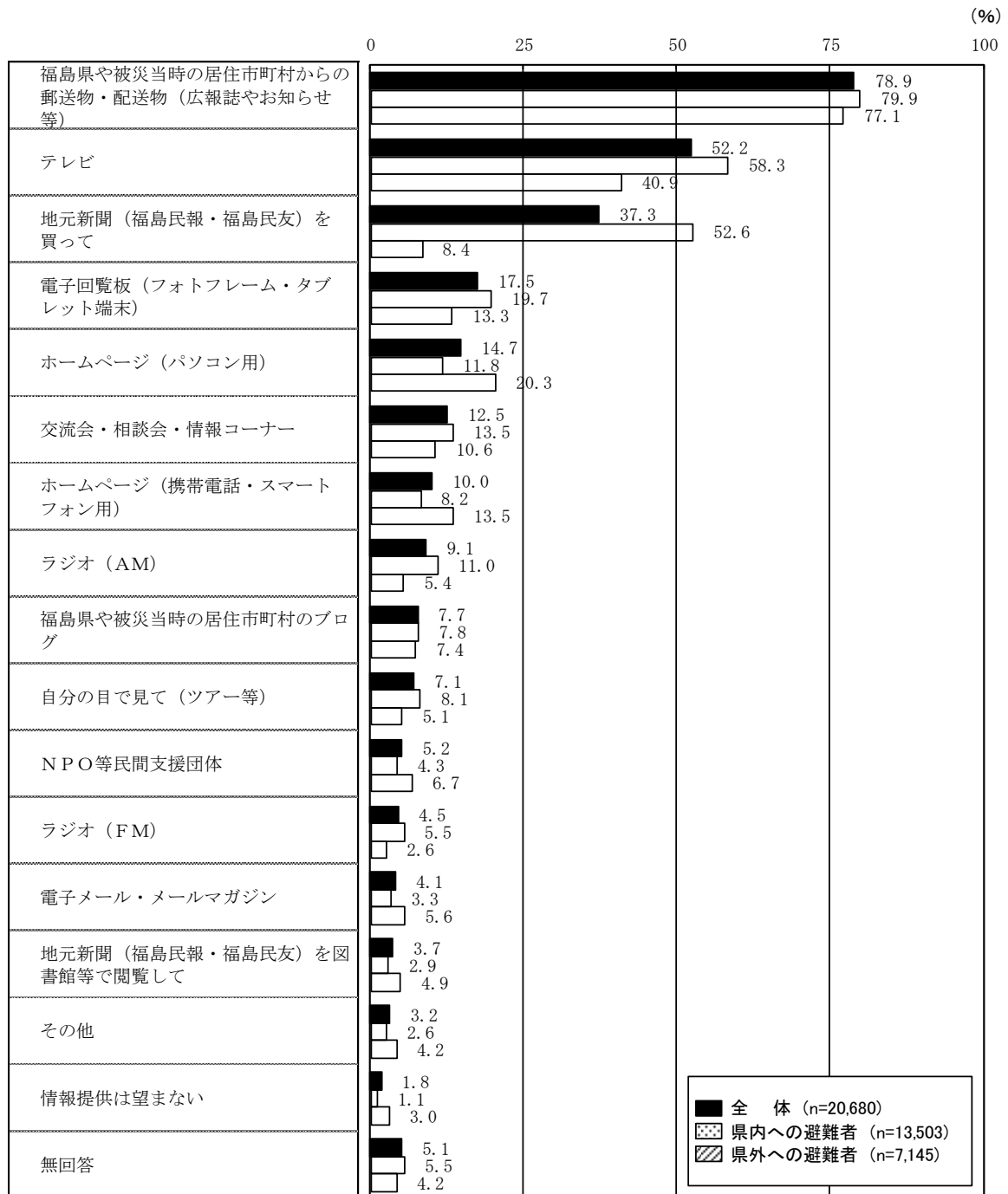
図表 4-2-1 避難元情報の入手希望手段（避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外））



【避難先別（県内・県外）】（図表 4-2-2）

- 県内、県外への避難世帯ともに、「被災時に居住していた地方自治体からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」が最も多く（県内 79.9%、県外 77.1%）、次いで「テレビ」（県内 58.3%、県外 40.9%）の順となっている。

図表 4-2-2 避難元情報の入手希望手段 〈 避難先別 （県内・県外） 〉



希望する行政機関からの情報内容（問 20）

（すべての方へ）

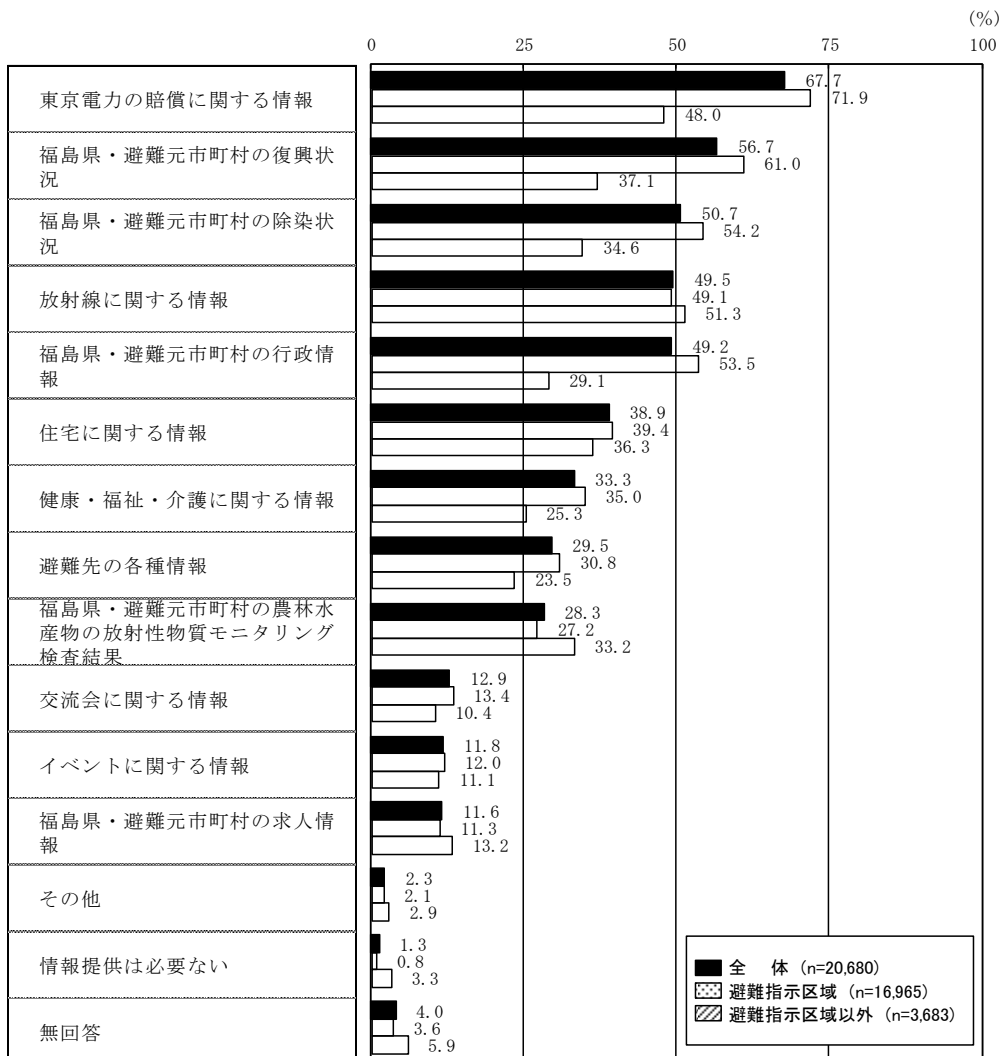
【全体】（図表 4-3-1）

- 複数回答で尋ねたところ、「東京電力の賠償に関する情報」（67.7%）が最も多く、「福島県や避難元市町村の復興・除染に関する情報」（復興 56.7%、除染 50.7%）、「放射線に関する情報」（49.5%）、「福島県や避難元市町村の行政情報」（49.2%）、「住宅に関する情報」（38.9%）の順となっている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 4-3-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、「東京電力の賠償に関する情報」（71.9%）、避難指示区域以外からの避難世帯では、「放射線に関する情報」（51.3%）が最も多い。

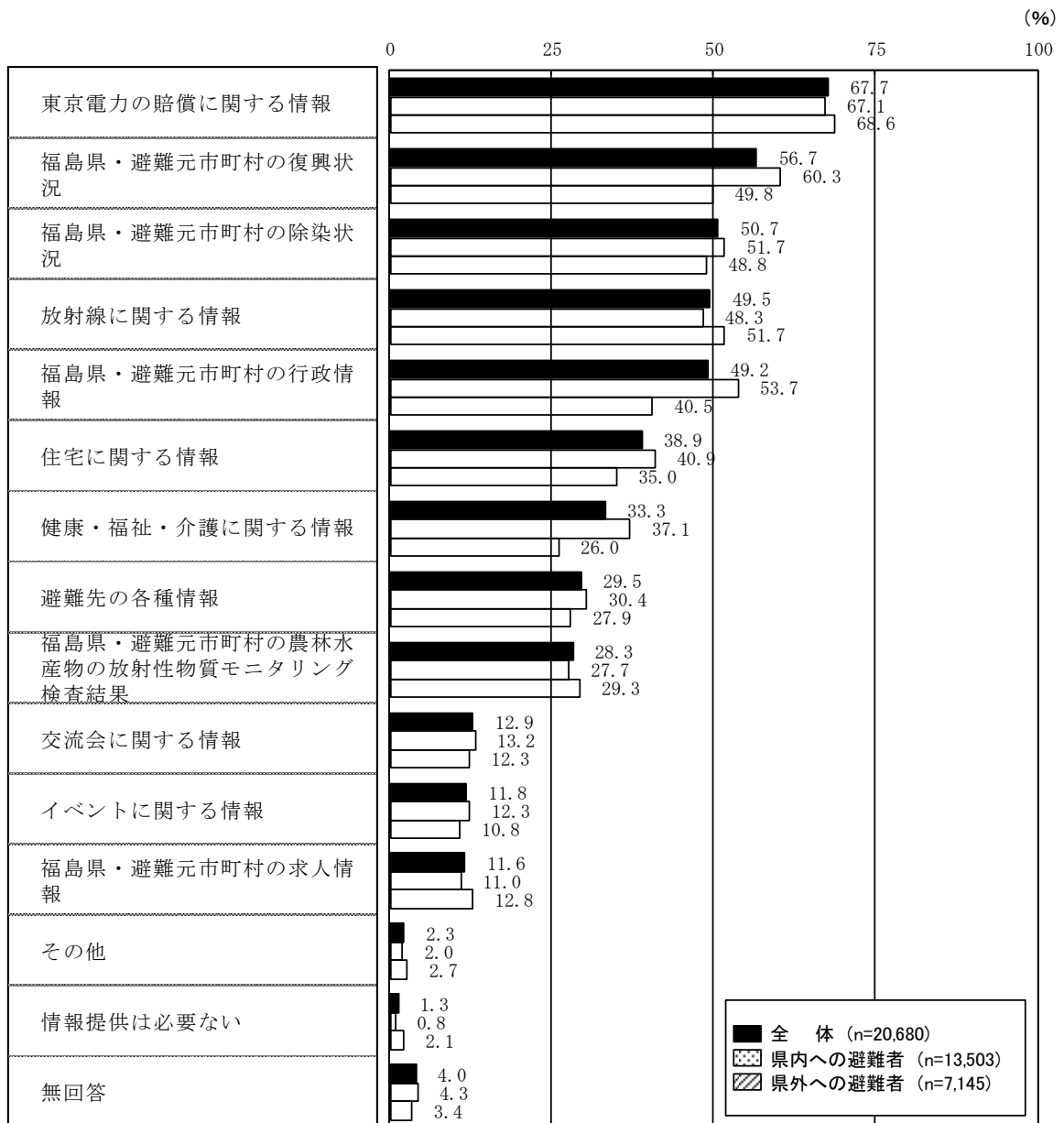
図表 4-3-1 ほしいと思う行政機関からの情報内容
 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】

- 県内、県外への避難世帯ともに「東京電力の賠償に関する情報」（県内 67.1%、県外 68.6%）が最も多かったが、2番目に多い要望は、県内への避難世帯では「福島県・避難元市町村の復興状況」（60.3%）、県外への避難世帯では「放射線に関する情報」（51.7%）となっている。

図表 4-3-3 ほしいと思う行政機関からの情報内容
 〈 避難先別（県内・県外） 〉



5. 今後の意向について

今後の生活予定について（問 21-1）

（現在福島県内に避難中の方へ）
※同一市町村内での避難を含む

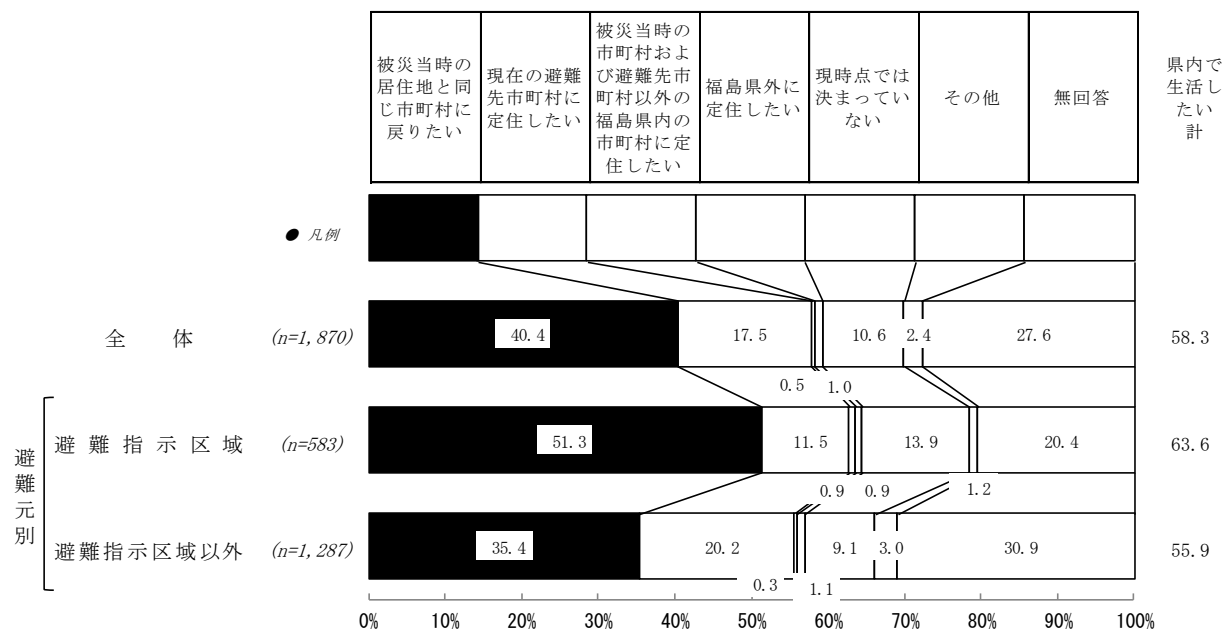
【全 体】（図表 5-1-1）

- 今後の生活予定について、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい（同一市町村内での避難の場合、住居のあった地区に戻りたい）」という意向（40.4%）が最も多い。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 5-1-1）

- 避難指示区域、避難指示区域以外からの避難世帯ともに、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい（同一市町村での避難の場合、住居のあった地区に戻りたい）」という意向が最も多い。
（避難指示区域 51.3%、避難指示区域以外 35.4%）

図表 5-1-1 福島県内避難世帯の今後の生活予定
〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



今後の生活予定について（問 21-2）

（現在福島県外に避難中の方へ）

【全体】（図表 5-1-4）

- 今後の生活予定について、「現時点で決まっていない」（36.0%）が最も多く、次いで「現在の避難先市区町村（福島県外）に定住したい」（26.4%）、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい（17.5%）」の順となっている。

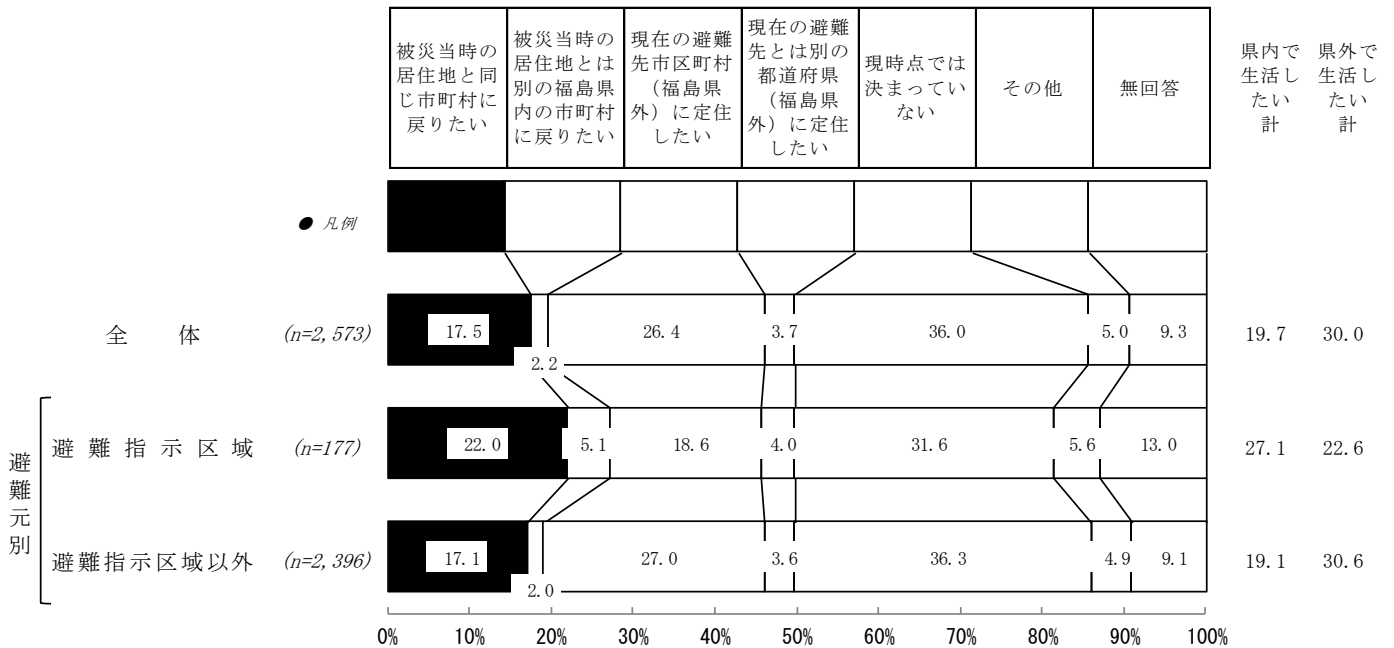
【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 5-1-4）

- 避難指示区域、避難指示区域以外からの避難世帯ともに、「現時点で決まっていない」が最も多い。

（避難指示区域 31.6%、避難指示区域以外 36.3%）

- 次いで、避難指示区域からの避難世帯では「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」（22.0%）が多く、避難指示区域以外からの避難世帯では「現在の避難先市区町村（福島県外）に定住したい」（27.0%）が多くなっている。

図表 5-1-4 福島県外避難世帯の今後の生活予定
 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



避難元市町村に戻る条件（問 22）

（〇はいくつでも）

（問 21-1、問 21-2 で「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」とお答えの方へ）

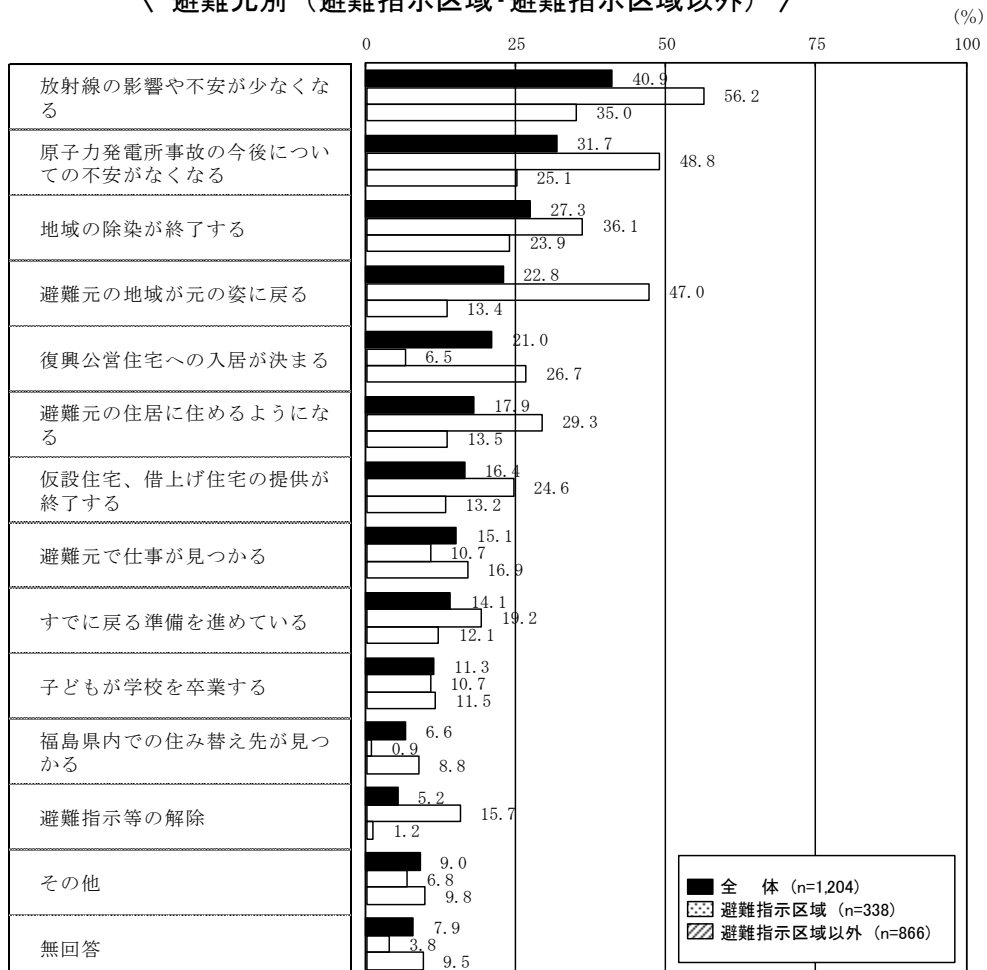
【全 体】（図表 5-2-1）

- 「放射線の影響や不安が少なくなる」（40.9%）が最も多く、「原子力発電所事故の今後についての不安が少なくなる」（31.7%）、「地域の除染が終了する」（27.3%）、「避難元の地域が元の姿に戻る」（22.8%）、「復興公営住宅への入居が決まる」（21.0）となっており、原子力発電所事故から生じた不安の払拭と生活再建が大きな条件となっている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】

- 避難指示区域、避難指示区域以外からの避難世帯ともに、「放射線の影響や不安が少なくなる」が最も多い。（避難指示世帯 56.2%、避難指示世帯以外 35.0%）
- 次いで、避難指示区域からの避難世帯では「原子力発電所事故の今後についての不安が少なくなる」（48.8%）が多く、避難指示区域以外からの避難世帯では「復興公営住宅への入居が決まる」（27.4%）が多くなっている。

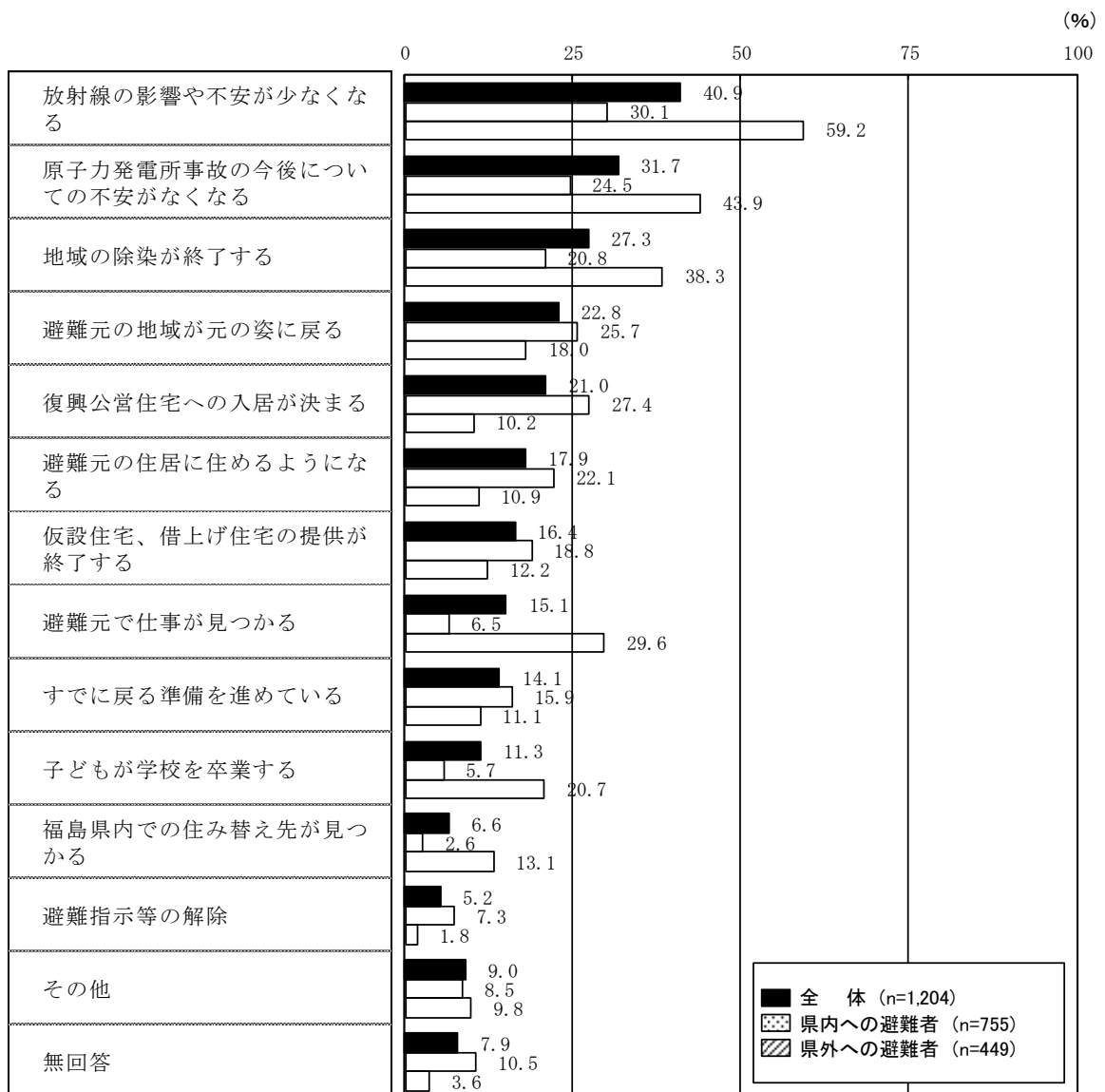
図表 5-2-1 被災当時の居住地と同じ市町村に戻る条件
〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外） 〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 5-2-2）

- 県内、県外への避難世帯ともに、「放射線の影響や不安が少なくなる」が最も多い。（県内 30.1%、県外 59.2%）
- 次いで、県内への避難世帯では「復興公営住宅の入居が決まる」（27.4%）が多く、県外への避難世帯では「原子力事故の今後について不安がなくなる」（43.9%）が多くなっている。

図表 5-2-2 被災当時の居住地と同じ市町村に戻る条件
 〈 避難先別（県内・県外） 〉



帰還や生活再建のために必要な支援内容（問 25）

（〇はいくつでも）

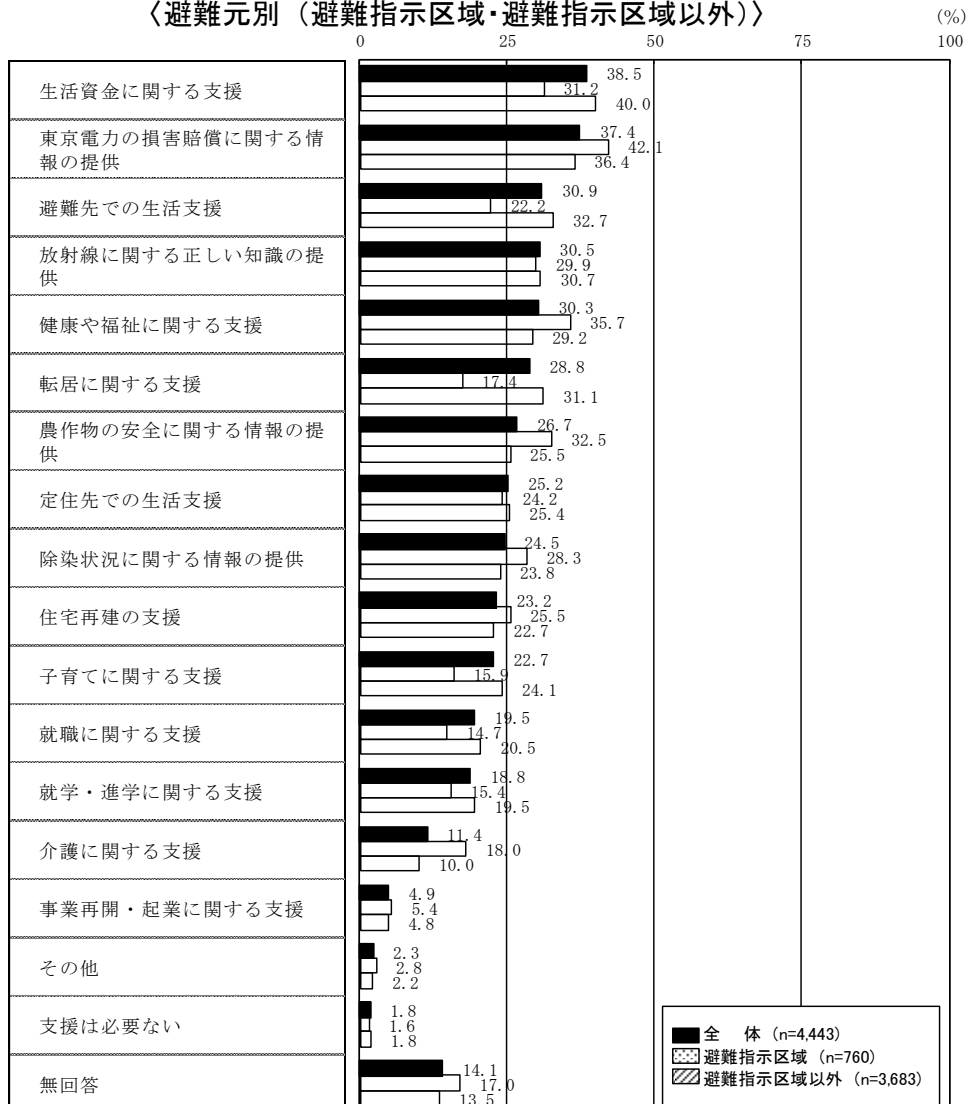
【全体】（図表 5-5-1）

- 「生活資金に関する支援」（38.5%）が最も多く、「東京電力の損害賠償に関する情報提供」（37.4%）、「避難先での生活支援」（30.9%）、「放射線に関する正しい知識の提供」（30.5%）、「健康や福祉に関する支援」（30.3%）の順で上位に挙げられている。

【避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）】（図表 5-5-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、「東京電力の損害賠償に関する情報提供」（42.1%）が最も多く、「健康や福祉に関する支援」（35.7%）、「農作物の安全に関する情報提供」（32.5%）、「生活資金に関する支援」（31.2%）と続いている。
- 避難指示区域以外からの避難世帯では、「生活資金に関する支援」（40.0%）が最も多く、「東京電力の損害賠償に関する情報提供」（36.4%）、「避難先での生活支援」（32.7%）、「放射線に関する正しい知識の提供」（30.7%）と続いている。

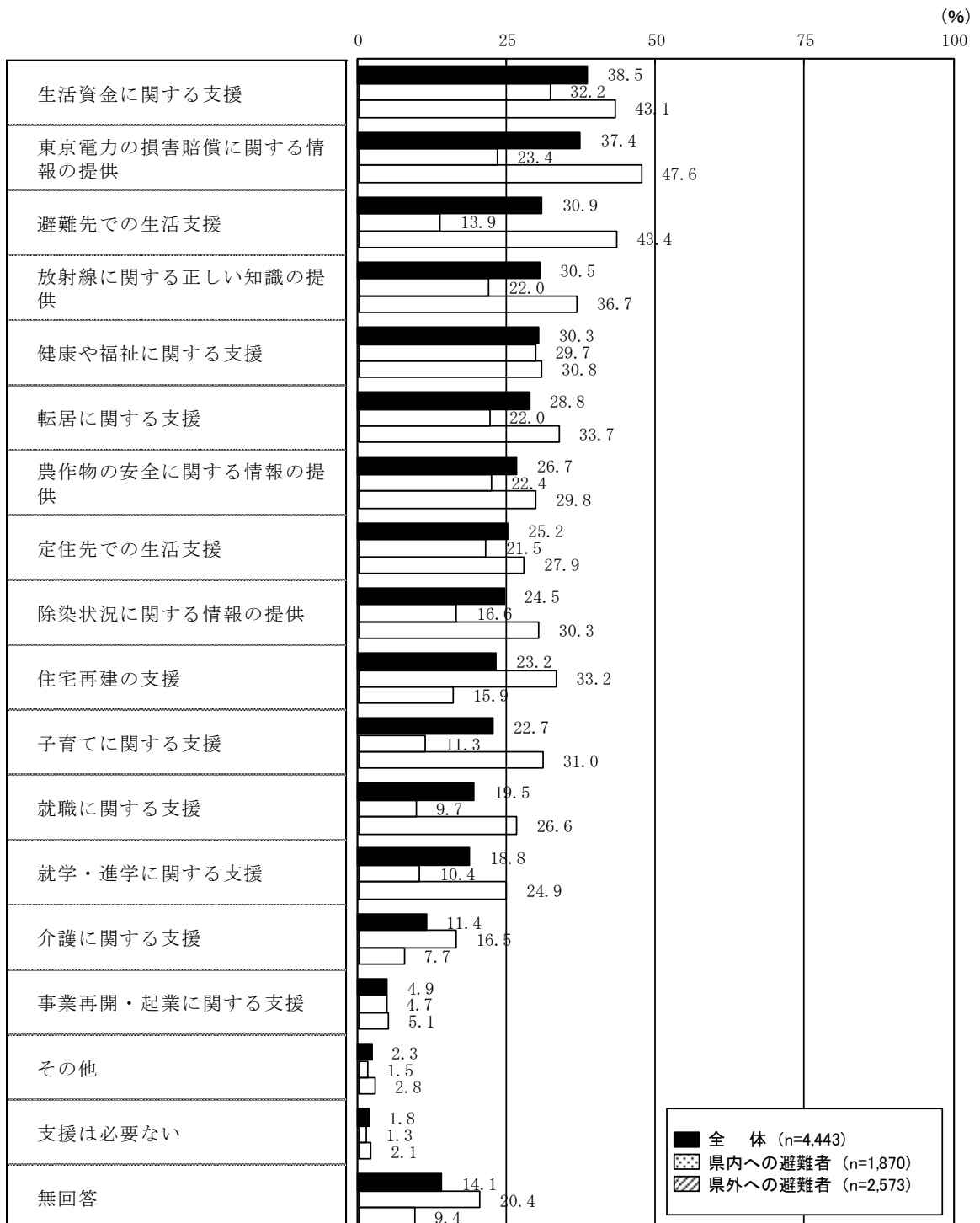
図表 5-5-1 帰還や生活再建のために必要な支援内容
〈避難元別（避難指示区域・避難指示区域以外）〉



【避難先別（県内・県外）】（図表 5-5-2）

- 県内への避難世帯は、「住宅再建の支援」（33.2%）が最も多く、「生活資金に関する支援」（32.2%）、「健康や福祉に関する支援」（29.7%）、「東京電力の損害賠償に関する情報提供」（23.4%）と続く。
- 県外への避難世帯は、「東京電力の損害賠償に関する情報提供」（47.6%）が最も多く、「避難先での生活支援」（43.4%）、「生活資金に関する支援」（43.1%）、「放射線に関する正しい知識の提供」（36.7%）と続く。

図表 5-5-2 帰還や生活再建のために必要な支援内容 〈 避難先別 （県内・県外） 〉

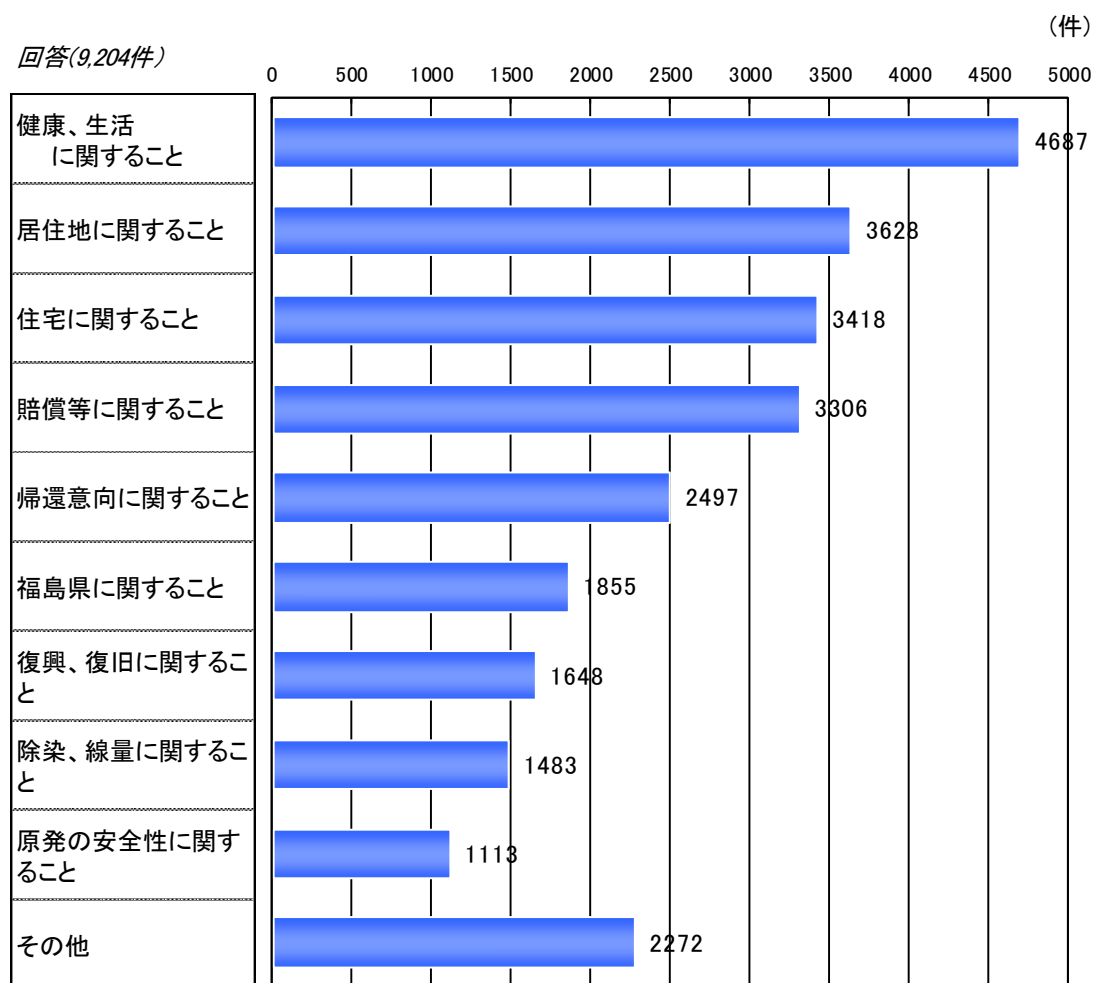


福島県への意見・要望

【全体】(図表 5-6-1)

- 福島県からの支援、今後のことについての意見や要望を尋ねたところ、9,204件の自由回答を得た。
- 最も意見等の多いものは、「健康、生活に関すること」(4,687件)であり、次いで「居住地に関すること」(3,628件)、「住宅に関すること」(3,418件)、「賠償等に関すること」(3,306件)、「帰還意向に関すること」(2,497件)、「福島県に関すること」(1,855件)、「復興、復旧に関すること」(1,648件)、「除染、線量に関すること」(1,483件)、「原発の安全性に関すること」(1,113件)と続いている。

図表 5-6-1 福島県からの支援・今後のことについての意見・要望(自由回答)





福島県 避難者意向調査

【調査の目的等について】

この調査は、皆様の現在の生活状況やニーズ等を把握し、今後の支援施策の充実につなげることを目的として実施するものです。

ご回答いただきました内容は、現在お住まいの自治体や福島県内の市町村と共有し、きめ細やかな支援等につなげてまいりたいと考えております。

本調査の趣旨を御理解いただき、ぜひ御協力いただきますようお願いいたします。

【ご記入いただきたい方】

ご回答は、宛先のご住所にお住まいの代表者の方がご記入ください。

(数か所に分かれて避難なさっている場合には、それぞれの住所にお送りしています。)

【個人情報について】

この調査票の最初のページで、現在のご住所にお住まいの方の氏名・生年月日・性別・ご住所をお尋ねしております。

ご記入いただいた個人情報は、福島県において適切に管理し、避難先各都道府県、避難先・避難元各市区町村とともに情報共有を行い、今後の支援策のために有効に活用させていただきます。

なお、ご回答結果は、「〇〇の意見が△%」といった統計的な数字としてまとめ、個別の内容を公表することはありません。

ご記入済の調査票は、2月6日(木)までに、同封の返信封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください(切手は不要です)。

調査に関するお問い合わせ：専用フリーダイヤル0120-504-570

設置期間：2014年1月23日(木)～2月7日(金) 平日9:30～12:00、13:00～17:00

実施主体：福島県 生活環境部 避難者支援課

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号(福島県自治会館7階)

Tel:024-523-4157/4250 <http://www.cms.pref.fukushima.jp/>

調査委託先：株式会社日本リサーチセンター



〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1

<http://www.nrc.co.jp>

【ご記入方法】

- ※ (○は1つだけ) (○はいくつでも) といった各質問の記入方法に従い、○をつけてご回答ください。
- ※ 具体的な数値や市町村名、ご意見の記入をお願いしている設問や、「その他」の欄には、具体的にご記入ください。

現在のご住所にお住まいのご家族氏名・生年月日・性別・ご住所のご記入をお願いします。ご記入いただいた個人情報は、福島県において適切に管理し、避難先各都道府県、避難先・避難元各市区町村とともに情報共有を行い、今後の支援策のために有効に活用させていただきます。

ふりがな		性別	男・女	生年月日	明・大・昭・平 年 月 日
代表者氏名 (この調査の回答者)					
①現在お住まい (避難先)の住所	※宛名ラベルと異なる場合だけご記入ください。同じ場合は①のご記入は不要です。 郵便番号 ()				
②被災当時の住所	郵便番号 ()				

現在お住まいの住居に一緒に避難されているご家族	代表者との続柄 ↓	ふりがな 現在同居ご家族氏名 ↓	性別 ↓	生年月日 ↓	被災当時の住所↓ ※②と同じ場合は、「同上」とご記入ください。②と異なっていた場合のみご記入ください。
				男・女	明・大・昭・平 年 月 日
			男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
			男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
			男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
			男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
			男・女	明・大・昭・平 年 月 日	

備考 (ご家族欄が足りない場合は、この欄にご記入ください。)

避難状況についておたずねします

【すべての方へ】

問1 被災当時、および現在の同居ご家族についておたずねします。

(1) 被災当時ご同居のご家族を、あなたからみた続き柄でお知らせください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------|-----------|---------|
| 1 夫 | 5 子ども | 9 兄弟姉妹 |
| 2 妻 | 6 子どもの配偶者 | 10 孫 |
| 3 父・義父 | 7 祖父 | 11 その他 |
| 4 母・義母 | 8 祖母 | (具体的に) |

(2) 現在、あなたと同居しているご家族を、あなたからみた続き柄でお知らせください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------|-----------|---------|
| 1 夫 | 5 子ども | 9 兄弟姉妹 |
| 2 妻 | 6 子どもの配偶者 | 10 孫 |
| 3 父・義父 | 7 祖父 | 11 その他 |
| 4 母・義母 | 8 祖母 | (具体的に) |

問2 世帯の現在の避難状況について、あてはまるものをお選びください。(〇は1つだけ)

- 1 世帯全員が避難している
(被災当時一緒に住んでいた人が、全員被災当時の住所から避難している)
- 2 世帯の一部のみが避難している
(被災当時一緒に住んでいた人の中に、被災当時の住所に残っている人がいる)

問2-1 被災当時同居していたご家族は、現在何か所に分かれてお住まいですか。(〇は1つだけ)

- 1 世帯でまとまって1か所に住んでいる(一人暮らしを含む)
- 2 合計2か所に住んでいる
- 3 合計3か所に住んでいる
- 4 合計4か所に住んでいる
- 5 合計5か所以上に住んでいる

問3 被災当時の住所から避難した理由について、お答えください。(〇はいくつでも)

- 1 自宅が壊れたり、流出したりしたことにより、住むことができなくなった
- 2 原発事故の避難指示区域等のため、自宅に住めなくなった
- 3 原発事故の避難指示区域等ではないが、原発事故の影響を懸念して避難した
- 4 その他(具体的に)

【すべての方へ】

問4 あなたご自身の現在の避難生活の状況について、お答えください。(○は1つだけ)

- 1 避難先の住居で生活している →問6へ
- 2 避難先の住居で生活しているが、週に数日程度は避難先を離れている →問5へ
- 3 避難先と別の場所で、半々程度生活している →問5へ
- 4 別の場所で生活している →問5へ

【問4で2、3、4とお答えの方のみ】

問5 避難先とは別の住居についてお尋ねします。

避難先以外で生活なさっているのは、どのような住居ですか。(○はいくつでも)

- 1 被災当時の住居
- 2 自分とは分かれて避難している家族の避難先住居
- 3 親族・知人宅
- 4 社宅・寮・公務員宿舎等
- 5 その他(具体的に)

【すべての方へ】

問6 避難先と避難元を往来する頻度はどの程度ですか。

被災当時の住居にご家族が居住している方がいらっしゃる場合は、そのご家族があなたの現在住んでいる住居を訪ねる回数を含めてお答えください。(○は1つだけ)

- 1 週1回以上(月4回以上)
- 2 月2～3回
- 3 月1回程度
- 4 2ヵ月～6ヵ月に1回程度
- 5 1年に1回程度
- 6 往来していない →問8へ

【問6で1～5とお答えの方へ】

問7 避難先と避難元を往来するために、主に利用している交通手段をお知らせください。(○は1つだけ)

※複数の手段を利用する場合は、最も利用頻度が高く、利用時間が長いものについてお答えください。

- 1 自動車(高速道路を利用している)
- 2 自動車(高速道路を利用していない)
- 3 電車・新幹線
- 4 バス・高速バス
- 5 飛行機
- 6 船
- 7 その他(具体的に)

【すべての方へ】

問8 現在同居しているご家族は、避難元の市町村に登録していた住民票を、現在住んでいる市区町村に移しましたか。(○は1つだけ)

- 1 全員が住民票の登録を移した(一人暮らしを含む)
- 2 一部だけが住民票の登録を移している
- 3 誰も住民票は移していない(一人暮らしを含む)

お住まいの状況についておたずねします

【すべての方へ】

問9 現在お住まいの住居の形態について、お知らせください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 応急仮設住宅(建設型仮設住宅) | 7 社宅・寮・公務員宿舎等 |
| 2 応急仮設住宅(借上型民間賃貸住宅・公営住宅) | 8 親族宅 |
| 3 応急仮設住宅(雇用促進住宅・UR住宅) | 9 知人宅 |
| 4 自己負担による賃貸住宅・公営住宅 | 10 その他 |
| 5 持ち家(一戸建) | (具体的に) |
| 6 持ち家(集合住宅) | |

問9-1 現在お住まいの住居について要望等がありますか。「1」や「2」をお選びの方は理由も併せてお聞かせください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 応急仮設住宅の入居期間の延長
(理由) | |
| 2 住み替えの柔軟な対応
(理由) | |
| 3 その他(具体的に) | |

問10 被災当時にお住まいだった住居の被害状況について、お答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 地震により全壊した | 6 津波により浸水した |
| 2 地震により大規模半壊した | 7 震災による避難指示区域のため長期間管理不能 |
| 3 地震により半壊した | 8 その他(具体的に) |
| 4 地震により一部損壊があった | 9 地震や津波による大きな被害はなかった |
| 5 津波により流出した | |

【被災当時にお住まいだった住居が「持ち家」の方へ。

「持ち家」以外の方は、5 ページの問 14 にお進みください。】

問11 被災当時にお住まいだった住居の現在の損傷や劣化の程度について、お知らせください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 すでに取り壊して、家はない →問13へ | |
| 2 地震や津波の影響による大きな損壊等がある(被災を受けたまま) | |
| 3 避難期間中にカビが多く発生している | |
| 4 避難期間中にネズミの被害を受けている | |
| 5 避難期間中に(ネズミ以外の)動物が侵入した跡があり、荒れている | |
| 6 避難期間中に雨漏りの形跡がある | |
| 7 特に大きな損傷などはない→問13へ | |
| 8 すでに再建したので、現在損傷などはない→問13へ | |
| 9 その他(具体的に) | |

【問 11 で2～6、9とお答えの方(被災当時お住まいだった住居に損壊等の被害がある方)へ】

問 12 被災当時にお住まいだった住居は、現在住める状態にありますか。(○は1つだけ)

- 1 清掃程度で住める状態である
- 2 多少劣化や損傷はあるが、少し手を入れれば住める状態である
- 3 劣化や損傷がひどく、かなり手を入れなければ住めない状態である
- 4 損傷がひどく、建て直さないと住めない状態である
- 5 その他(具体的に)
- 6 わからない

【被災当時にお住まいだった住居が「持ち家」の方へ】

問 13 被災当時にお住まいだった住居について、どうお考えですか。(○はいくつでも)

- 1 すでに修理・再建して住んでいる
- 2 現状のまま住みたい(住むことができる)
- 3 住宅を修理して、いずれは住みたい
- 4 自身では住まないが、保有を続けた上でなんらかの活用を考えている
- 5 とりあえず保有は続けるが、活用までは考えていない
- 6 売却したい(住宅は取り壊していない)
- 7 住宅はすでに取り壊したため、土地を売却したい
- 8 住宅はすでに取り壊したが、土地は保有を続けたい
- 9 その他(具体的に)

【避難指示区域以外にお住まいだった方へ】

問 14 被災当時にお住まいだった住居の除染は終了しましたか。(○は1つだけ)

- 1 すでに終了している
- 2 今後1年以内には終了する
- 3 わからない
- 4 その他(具体的に)

健康や生活などの状況についておたずねします

【すべての方へ】

問 15-1 現在、あなたまたは現在同居されているご家族の中で、避難してから心身の不調を訴えるようになった方はいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

1 いる

2 いない →問 16 へ

【問15-1で1「いる」とお答えの方のみ】

問 15-2 具体的にどのようなことですか。(○はいくつでも)

1 疲れやすくなった

7 孤独を感じる

2 よく眠れない

8 憂うつで気分が沈みがち

3 飲酒や喫煙の量が増えた

9 持病が悪化した

4 食欲がない

10 その他

5 イライラする

(具体的に)

6 何事も以前より楽しめなくなった

【福島県外に避難している方へ。それ以外の方は問 17 にお進みください。】

問 16 お住まいの地域の近隣で内部被ばく検査が受けられる場合、ご家族も含めて受検するお考えはありますか。(○は1つだけ)

1 受検したい

2 受検したいと思わない

問 16-1 それはどのような理由からですか。
(○は1つだけ)

問 16-2 それはどのような理由からですか。
(○は1つだけ)

1 検査を受けたことがないため

1 検査を受けたことがあるため

2 検査を受けたことはあるが、複数回受けたい
ため

2 検査を受ける必要はないと考えるため

3 その他

3 その他

(具体的に)

(具体的に)

【すべての方へ】

問 17 現在の生活で不安なこと、困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1 生活資金のこと

8 教育のこと

2 住まいのこと

9 介護のこと

3 仕事のこと

10 避難先での生活に係る情報が不足していること

4 自分や家族の身体の健康のこと

11 避難元の情報が不足していること

5 自分や家族の心の健康のこと

12 放射線の影響のこと

6 栄養・食生活のこと

13 その他

7 子育てのこと

(具体的に)

皆様への情報提供についておたずねします

【すべての方へ】

問 18 避難元の情報は、現在どのような手段で入手されていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 福島県や被災当時の居住市町村からの郵送物・配送物
(広報誌やお知らせ等) | 9 テレビ |
| 2 地元新聞(福島民報・福島民友)を買って | 10 ラジオ(AM) |
| 3 地元新聞(福島民報・福島民友)を図書館等で閲覧して | 11 ラジオ(FM) |
| 4 ホームページ(パソコン用) | 12 NPO等民間支援団体 |
| 5 ホームページ(携帯電話・スマートフォン用) | 13 交流会・相談会・情報コーナー |
| 6 福島県や被災当時の居住市町村のブログ | 14 自分の目で見te(ツアー等) |
| 7 電子回覧板(フォトフレーム・タブレット端末) | 15 友人・知人 |
| 8 電子メール・メールマガジン | 16 その他
(具体的に) |
| | 17 情報を入手していない |

問 19 避難元の情報について、今後どのような手段での提供を望みますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 福島県や被災当時の居住市町村からの郵送物・配送物
(広報誌やお知らせ等) | 9 テレビ |
| 2 地元新聞(福島民報・福島民友)を買って | 10 ラジオ(AM) |
| 3 地元新聞(福島民報・福島民友)を図書館等で閲覧して | 11 ラジオ(FM) |
| 4 ホームページ(パソコン用) | 12 NPO等民間支援団体 |
| 5 ホームページ(携帯電話・スマートフォン用) | 13 交流会・相談会・情報コーナー |
| 6 福島県や被災当時の居住市町村のブログ | 14 自分の目で見te(ツアー等) |
| 7 電子回覧板(フォトフレーム・タブレット端末) | 15 その他
(具体的に) |
| 8 電子メール・メールマガジン | 16 情報提供は望まない |

県からのお知らせ：

現在、本県では避難されている方々に対して、さまざまな情報提供事業を行っております。詳しくは、別添「避難されている県民の皆様への情報発信について」をご覧ください。

【すべての方へ】

問 20 行政機関等からの情報提供について、どのような情報がほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------|
| 1 福島県・避難元市町村の行政情報 | 8 東京電力の賠償に関する情報 |
| 2 福島県・避難元市町村の復興状況 | 9 放射線に関する情報 |
| 3 福島県・避難元市町村の除染状況 | 10 健康・福祉・介護に関する情報 |
| 4 福島県・避難元市町村の求人情報 | 11 交流会に関する情報 |
| 5 福島県・避難元市町村の農林水産物の放射性
物質モニタリング検査結果 | 12 イベントに関する情報 |
| 6 避難先の各種情報 | 13 その他(具体的に) |
| 7 住宅に関する情報 | 14 情報提供は必要ない |

今後の意向についておたずねします

下記の市町村（地域）から避難された方については、復興庁による調査が実施されている（される予定である）ことから、問 26 にお進みください。
それ以外の方は問 21 から問 26 までお答えください。

田村市（都路町、常葉町（黒川地区、田代地区、堀田地区、山根地区）、船引町（横道地区））、南相馬市（小高区及び原町区の避難指示区域）、川俣町（山木屋地区）、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

【現在福島県内に避難中（同一市町村内での避難を含む）の方へ】

問 21-1 今後の生活の予定について、現在の考えをお聞かせください。（○は1つだけ）

- 1 被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい
（同一市町村内での避難の場合、住居のあった地区に戻りたい） →問 22 へ
- 2 現在の避難先市町村に定住したい
（同一市町村内での避難の場合、現在の避難先の地区に定住したい） →問 23 へ
- 3 被災当時の市町村および避難先市町村以外の福島県内の市町村に定住したい →問 23 へ
→具体的に(市町村名を記入)
- 4 福島県外に定住したい →問 23 へ
- 5 現時点では決まっていない →問 23 へ
- 6 その他(具体的に _____) →問 23 へ

【現在福島県外に避難中の方へ】

問 21-2 今後の生活の予定について、現在の考えをお聞かせください。（○は1つだけ）

- 1 被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい →問 22 へ
- 2 被災当時の居住地とは別の福島県内の市町村に戻りたい →問 23 へ
→具体的に(市町村名を記入)
- 3 現在の避難先市区町村(福島県外)に定住したい →問 23 へ
- 4 現在の避難先とは別の都道府県(福島県外)に定住したい →問 23 へ
- 5 現時点では決まっていない →問 23 へ
- 6 その他(具体的に _____) →問 23 へ

【問 21-1 で1「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」とお答えの方へ】

【問 21-2 で1「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」とお答えの方へ】

問 22 具体的にどのような状況になれば戻ろうと考えますか。(〇はいくつでも)

- 1 避難指示等の解除
- 2 地域の除染が終了する
- 3 放射線の影響や不安が少なくなる
- 4 避難元の地域が元の姿に戻る
- 5 避難元の住居に住めるようになる
- 6 避難元で仕事が見つかる
- 7 原子力発電所事故の今後についての不安がなくなる
- 8 仮設住宅、借上げ住宅の提供が終了する
- 9 復興公営住宅への入居が決まる
- 10 福島県内での住み替え先が見つかる
- 11 子どもが学校(具体的に:)を卒業する
- 12 すでに戻る準備を進めている
- 13 その他(具体的に)

問 22 にお答え後は、問 24 へお進みください。

【問 21-1 で2・3・4・5・6とお答えの方へ】

【問 21-2 で2・3・4・5・6とお答えの方へ】

問 23 被災当時の居住地と同じ市町村に戻らない理由について、あてはまるものに〇をつけてください。

(〇はいくつでも)

- 1 避難元の除染の見込みが不明なため
- 2 避難元に戻っても、健康(放射線の影響)に不安があるため
- 3 避難元の現地の状況(インフラの復旧、店舗の再開等)がわからないため
- 4 避難元での住宅再建が困難なため
- 5 避難元に戻っても、仕事が無いため
- 6 避難元に戻っても、子どもに教育を受けさせることに不安があるため
- 7 避難元に戻っても、子どもの健康(放射線の影響)に不安があるため
- 8 避難元に戻っても、自らが食べる農産物に不安があるため
- 9 避難先で就職しているため
- 10 避難先で生活の拠点を築いているため
- 11 避難先のほうが暮らしやすいため
- 12 原発事故の今後について不安が残るため
- 13 その他(具体的に)

【すべての方へ】

問 24 今後のお住まいはどのような形態を希望されますか。問 21-1 または問 21-2 でお答えになった今後の生活予定でのお住まいを想定してください。(○は1つだけ)

- | | |
|--|----------------------|
| 1 元の住まい
(この選択肢は、問 21-1 または問 21-2 で「1 被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」と回答した方のみお選びください。) | 5 公営住宅 |
| 2 住宅(一戸建)の新築または購入 | 6 社宅・寮・公務員宿舎等 |
| 3 住宅(集合住宅)の購入 | 7 復興公営住宅 |
| 4 民間賃貸住宅 | 8 親戚・知人宅 |
| | 9 検討中 |
| | 10 その他(具体的に) |

問 25 今後の帰還や生活再建に向けて、どのような支援が必要ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1 住宅再建の支援 | 10 除染状況に関する情報の提供 |
| 2 転居に関する支援 | 11 東京電力の損害賠償に関する情報の提供 |
| 3 就職に関する支援 | 12 放射線に関する正しい知識の提供 |
| 4 生活資金に関する支援 | 13 農作物の安全に関する情報の提供 |
| 5 事業再開・起業に関する支援 | 14 定住先での生活支援 |
| 6 健康や福祉に関する支援 | 15 避難先での生活支援 |
| 7 介護に関する支援 | 16 その他 |
| 8 子育てに関する支援 | (具体的に) |
| 9 就学・進学に関する支援 | 17 支援は必要ない |

○をつけたもので、具体的にこういった支援が必要であるというご意見があれば、ご自由にご記入ください。

[]

問 26 その他、福島県からの支援、今後のことについて等、ご意見やご要望があれば、ご自由にご記入ください。

[]

◇個人情報支援団体への提供についてのご意向をお尋ねします◇

以下にご同意いただける方に限りまして、支援策の実施のための必要に応じて、福島県から、社会福祉協議会やNPO等民間支援団体等に対して、個人情報の情報提供をさせていただきたいと考えております。

これに同意いただける場合は、下記の同意欄に「○」をご記入ください。

同意欄	
	福島県から社会福祉協議会やNPO等民間支援団体に個人情報を提供することに同意します。

ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入済の調査票は、2月6日（木）までに、同封の返信封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。